

# 同窓会 通信

An Alumni Association News

挑戦し続ける力。

特集01

「人として強く、美しく」  
安藤美姫

特集02

「我が心の聖火」  
—— 永遠のチャレンジ精神 ——  
高橋 繁浩 青戸 慎司 寺尾 悟





# ける力。



## CONTENTS

03 特集01 「人として強く、美しく」

安藤美姫

07 特集02 「我が心の聖火

——永遠のチャレンジ精神」

高橋繁浩 青戸慎司 寺尾悟

13 総長・理事長のコメント

新学長の抱負

25 名刺交換会

15 現代社会学部の開設

27 ホームカミングデー

17 職場拝見

31 支部だより

21 同窓生の活躍・思い出

41 校友会本部からのお知らせ



特集  
01

「人として強く、美しく」  
安藤 美姫

梅村総長・理事長の力強いリーダーシップにより進められている改革で、中京大学の声価は年を追うごとに高まっています。新入生の高い偏差値、公務員や資格取得試験合格者の急増、さらにはスポーツ選手の国際舞台での活躍など、目に見える実績も枚挙にいとまがありません。もちろん、この躍進の陰には、企業はじめ、官公庁、教育・研究機関など、さまざまな分野で活躍する九万人余の同窓生の存在があります。そうした先輩たちと在校生の姿、そして学校のいまを伝える『同窓会通信』。今回は、「挑戦」をテーマに、頂点を目指す熱い想いを特集しました。

# 挑戦し続



特集  
02

「我が心の聖火——永遠のチャレンジ精神」 高橋 繁浩 青戸 慎司 寺尾 悟





# 「人として強く、美しく」

世界のトップスケーター安藤美姫さん(十九歳)は、この春中京大学の二年生。練習や試合に追われながらも体育学部で熱心に学ぶ。

挫折も経験した彼女にとって、大学での経験や出会いは、アスリートとして、人として成長する大きな糧となるだろう。



Miki Ando

## 安藤 美姫

中京大学 体育学部2年

1987年12月18日、名古屋市生まれ。8歳でフィギュアスケートを始め、全日本ジュニア3連覇。シニア全日本選手権2連覇。世界ジュニア選手権優勝。ジュニアGPファイナル優勝。スケートアメリカ優勝。史上初の女子4回転に成功。トリノ五輪代表。中京大中京高出身。

大学の中に  
リンクができるなんて

昨年四月、安藤さんは体育学部体育科学科(豊田キャンパス)に入学。たくさんの出会いが、スケーターとしての自分を成長させてくれたという。

名古屋にいたときは早朝に市内のリンクで練習後、一限目からの授業に出席する。心理学、解剖学、運動生理学等々、現役アスリートや将来の指導者として必要な専門的知識を熱心に聴講する。「競技中に自分の細かい筋肉組織や骨格を意識しながら滑ることはありませんが、専門的な知





識はずいぶん参考になります。私の筋肉の中で弱い部分について、専門の先生に質問することもあります」と安藤さん。

外国語はロシア語を選択した。

「ブルシェンコ、スルツカヤ、ヤゲティン…。トップスケーターはロシア人が多い。英語でもいいのですが、ロシア語で少しでも話すことができればと思って勉強しています。単語は何とか分かってきましたが、発音とか女性・男性名詞の違いとか難しくてまだまだですけれども」

十九歳。前向きに生きる彼女には、すべてのことが成長への糧となっている。勉強だけでなく、新たな出会いもまた…。

「各競技のトップアスリートがいろいろしゃるので、自然に、自分も頑張らなければという気持ちになりますね。大学の同じクラスの人で陸上のチャンピオンになった人と友達になりました。いっしょに向上できる仲間がいることは本当に励みになります」  
また、教授ら「大人」と話す機会が増えたそう。言葉遣いや社会での付き合い方はずいぶん学んだという。五月に完成する豊田キャンパス内のスケートリンクへの期待も高い。

「どのように使わせて頂けるのかまだ分かりませんが、大学の中にリンクができるの



はありがたいですね。楽しみです」

かつて「ミキ」と自分のことを呼んだ愛らしい少女は、今は自分のことを「私」と呼び、相手の目をしっかりと見ながら話す。凛とした大人の女性になった。

「スケートだけではなく、人としても美しくなれるように頑張ります」。

今年二月一日、安藤さんは知人へのポストカードにこう書いた。そこには頂点とどんだ底を味わった若きアスリートの新たな決意が込められている。

## トリノ。 再生への声援

「本音を言つと、私は人前に出ることがすごく苦手です。テレビでも取り上げられて、多くの方々に応援して頂けるようになりました。ですが、注目されるのは、ありがたいと思つ反面、嫌だなと思つてしまつ時期があつたんです」

二〇〇二年、十四歳で臨んだ世界ジュニアGPファイナル。公式競技会では女子初の四回転ジャンプを飛んだ天才少女は、フィギュアがただ純粹に楽しかったようだ。そして、中学、高校（中京大中京高）と時を重ねるにつれ、安藤さんは世界的スケーターへと成長する。

「中学三年から高校二年がベストの時期ですね。プレッシャーもなく、何も考えずに無我夢中でした」

その後、メディアの攻勢と全国的な注目を浴びると、大人への入り口にさしかかったナイーブな少女は戸惑いを隠せなかった。「静かに成長したいのに、なぜ」というのが、この頃の心境だったという。

二〇〇六年のトリノ五輪が近付くとそれまでと違って、頭で考えて滑つてしまったり、周囲の目が気になるようになってきたりも



したようだ。加えてハードスケジュールとけがが安藤さんを襲った。五輪を含め五週間で四戦という未体験の過密日程。緊張の連続をコントロールする術（すべ）は少女にまだなかった。足の骨折も不安材料だった。トリノ五輪は十五位に終わった。滑り終わったとき、「もうスケートはイヤ」という気

持ちでいっぱいだった。ところが、試合会場を二歩出ると、思いも寄らぬ声援と激励が待っていた。

「大舞台でよくぞ四回転に挑戦したね!」「トリノまで応援に来た甲斐があつたよ!」。日本から来た大勢の応援団の人々だった。涙が出るほどうれしかった。このままで



は終われない。もっと完璧な、もっと元気な自分のスケートを見てもらわなければ……。安藤さんはもう前を向いていた。

## 多くの人々に 支えられ

トリノ五輪から丸一年。「この二年間は成長できた、すごくいい年でした」と安藤さんは振り返る。

五輪後の二〇〇六年春、安藤さんはかつて指導を受けた門奈裕子コーチの下で得意のジャンプを基礎からやり直した。さらにロシア人のニコライ・モロゾフコーチの指導を仰いだ。研ぎ澄まされたフィジカルで臨んだ十月のGPシリーズ・スケートアメリカ・パISONアルペストを更新し、優勝を果たす。

「一度はやめようと思ったスケートですが、暖かい応援にもう一度頑張ろうという気持ちになれて、新しいことにも取り組みました」

十二月、地元名古屋で開かれた全日本選手権では大会中に肩を負傷。フリーでは、痛みのために途中で競技を止め掛けたが再開し、最後まで滑った。演技再開後の滑りは、強く、美しく、感動を呼んだ。二位となり、世界選手権への切符を手にした。



「肩の痛み以外、自分の技術に不安はなかった。だから最後までどんなことがあっても滑り切って世界選手権の切符を手にしたかった。トリノのときの弱い自分だったら、けがを理由にフリーには出なかったかもしれないですね」

「人としても美しく」。

ポストカードの言葉には、弱かった自分への決別と、支えてくれる人々への感謝の心が込められている。

「二人のコーチ、家族、大学の友人、先生方、そして多くの応援してくださる人たち。みなさんのバックアップが今の私の支えです。耳を閉ざさずに周囲の言葉を素直に聞いて成長していきたい。スケートでも日常生活でも、今年は強く、美しく生きたいです」

最後に安藤さんは、中京大学同窓会にこんなメッセージを寄せてくれた。

「中京大学という素晴らしい大学に入っているいろいろな経験をさせて頂き感謝しています。大学のご理解により、スケートに集中できる環境に恵まれて、本当に幸せです。卒業した後も、中京大学が今よりもっと好きになってほしい。そのためにもスケートだけでなく、人として素晴らしい人間になれるよう頑張りますので、応援をお願いします」

特集  
02Shinji Aono  
青戸 慎司Shigehiro Takahashi  
高橋 繁浩Satoru Terano  
寺尾 悟

# 我が心の聖火

## -- 永遠のチャレンジ精神

中京大学は建学以来、多くの五輪選手を輩出してきた。トップアスリートたちがそれぞれの競技を通じ、学んできた貴重な経験は学生たちへ受け継がれる。今も本学と深い関わりを持つ3人がスポーツと中京大を大いに語り合った。

三年時に、水泳部監督の鶴峯治先生ともども水泳部員約二〇人が中京高校(現・中京大中京高)に編入しました。翌年はモスクワ五輪も控えていたので、その後、日本はボイコット)、迷わず中京大学に進学しました。尾道高校の水泳部が存続していれば、中京大に来ることもなかったでしょうね。

青戸 僕は幼稚園の時に体操教室に通っていて体を動かすのが好きになりました。当時から足も速くて小、中学校で記録を出し、陸上を本格的に始めました。原点は幼稚園のかけこでの走る楽しさ、勝つ喜びですね。全日本中学選手権の二〇〇mで優勝し、いろいろな高校から勧誘を受けましたが、地元のと歌山工業高校へ進学し、陸上部監督(中京大OB)から勧められて、中京大学に進学しました。高校から合宿、遠征などで中京大学の立派なグラウンドなど施設を使わせて頂いていましたので、入学が決まったときはとても嬉しかったことを覚えてます。

寺尾 僕がスケートを始めたきっかけは高橋さんと似ていますね。生まれたところは冬になると遊び場がなく、たまたまスケートリンクが近くにあったので、兄と滑るようになりました。小さい頃は上達が早く、滑るたびに速くなり、楽しかったのですが、土日しか滑れないために我慢ができなくなつて、クラブチームに入りました。そこがショートトラッ

## 「楽しさから始まった競技人生」

高橋 私の子ども頃の頃は今のようスイミングスクールもなく、暑い日には子どもは水に入って遊ぶのが楽しみの時代でした。そういう環境の中で泳ぐようになり、小学校の時に県大会で優勝したのが、本格的に水泳

を始めるきっかけです。その後、全国中学生大会でも優勝し、高校二年で日本チャンピオンになつて国際大会に出場するようになりました。高校は広島島の尾道高校に進学しましたが、学校の水泳部の存続が難しくなり、





クのチームでした。

もし、スピードスケートのチームなら違う競技をやっていたかかもしれません。高校一年までは目立った選手ではありませんでしたが、一九九二年のアルベルヒル五輪をテレビで見て、オリンピックを目指そうと思いました。それからさぼり屋だった僕は二変し、その後世界選手権代表、高三で五輪代表になることができました。成績が上がると、進路の選択肢も増えました。ブランド志向もあって関東や関西の大学へのあこがれも芽生えました。が、スケートと勉学の両立を考え、地元で、スケートの先輩方の中京大を選びました。

## 「前向きな気持ちを失うことなく」

高橋 スポーツ選手はいろいろな挫折を経験しています。中学時代は記録が二年単位ですごく伸び、中学二年では全中で最下位でしたが、翌年には優勝。次の高校二年では全日本チャンピオン、高二で世界ランキング二位。自分で目標としていた記録すら二気に上回っていくペースでした。自分でも驚きましたが、周囲の期待も変わってきて、「頑張れよ」から「日本チャンピオンだ」「次は世界チャンピオン!」「世界記録だ!」とエスカレートしていきます。そんななかで泳法失格が宣告さ

### 高橋繁浩

1961年6月15日、滋賀県出身。広島県尾道高校を経て中京高 中京大同大学院。1978年に水泳平泳ぎ世界ランキング1位となるが、その後泳法失格でスランプに。1984年ロサンゼルス五輪100m平泳ぎ10位、200m12位。中京大水泳部コーチとなるが現役復帰。1988年ソウル五輪で200m平泳ぎ10位。現在、中京大体育学部助教授、水泳部監督。



ソウルオリンピック

れ、十代の私はどのように対処しているのかわかりませんでした。ベテランであれば、対処の仕様もあつたのでしょうか、当時は知恵も経験もなく、混乱に陥りました。その一方で、記録へのプレッシャー、五輪への期待があり、苦しみました。もがけばもがくほど空回りし、気持ちもネガティブになっていきます。負けたらどうしようと思ひ、そう思うと負けるのです。いつしか日本選手権でも優勝できなくなりました。その経験を経て、今指導する立場になって振り返ると、解決策はいろ

いろあつたと思います。

水泳は、もともと好きだったので、長く続けることができました。記録も励みになりました。ところがやるたびに記録が下がるので、何のために水泳を続けているのか、人生はうまくいかないものだと考え込んだ時期でした。幸いとおうか、モスクワ五輪が日本のボイコットで出場機会がなくなり、一時は冷静になりました。そこから記録も再び伸びるようになったのです。

青戸 僕は元々、優勝経験は少ない。大会出場者中、ランキングはトップであっても、負ける。前評判ばかりでした。でも、同級生のライバルには負けなくなかったので、彼がいないところで練習しました。ソウル五輪の四〇〇mリレーに出場しましたが、本当は二〇〇mに出場しなかった。この頃アキレス腱の故障で、試合を見る気にもならなかった時期もあります。これではいけないと針治療をして一九九二年のバルセロナ五輪には間にあいました。気持ち前向きに持つことが大切だとわかりました。僕は選手として天才ではありませんので、練習はずいぶんやったつもりです。

高橋 寺尾君は五輪に四回出場しています。が、失敗だったと思う大会はあるんですか？

寺尾 回を重ねるごとに、よくなっていると思います。一回目は若い勢いで出場できました。その時は四位で一番成績が良かったので

すが、二回目には考えすぎてしまった。三回、

四回になると五輪大会期間だけでなく、五輪が開かれる間の四年のサイクルを、上手にコンディション調整できるようにになりました。大学三年ではワールドカップ五戦で三回総合優勝。ところが翌年、期待された長野五輪は、ダークホースだった後輩の西谷が金。おしいところを持って行かれて悔しかった。でも、金メダルを取ったらスケートを辞めていたかもしれません。負けたことでやめられず、トリノ五輪まで続けました。バンクーバー五輪は三四歳。きつけれど現役を続けています。

高橋 ショートトラックは駆け引きが重要な要素ですね。年齢を重ねて、体力で負けても、勝負に勝てるのでは？

寺尾 抜くタイミング、選手の癖などを考えて、最後は勝つ。世界で勝つことと全日本選手権一〇回優勝が目標です。引退のイメージが湧かないのですが、引退の踏ん切りはどう着ければいいのでしょうかね。

高橋 今の水泳選手は試合が多くて、五輪が四年に一度、世界選手権が二年に一度。五輪の翌年に世界選手権があると、そこまで続ける選手が多い。僕らの頃は五輪がメインで、五輪が終わって「あと四年後か」と思うと、踏ん切りが着けやすかった。「五輪を最後に」と思ってやってきましたね。

青戸 好きでスケートをやっていれば「引退」

はないんじゃないやありませんか。ただ試合に出ないだけです。

高橋 そうですね。現役でありながら後輩を教えればいい。

寺尾 実は、日本代表チームに、自分なりにアドバイスをしようと思っています。ところで、先輩方の時代と僕の時代では豊田キャンパスの雰囲気もずいぶん変わったと思いますか？

高橋 まだ舗装がされていなかった。一番印象的なのが、女性が少なかったこと。女子が教室に入ってくれば、男子学生の視線がそこに集中する男所帯でした。大学周辺もアパ

バルセロナオリンピック



### 青戸慎司

1967年5月7日、和歌山県出身。和歌山工業高校を経て中京大。大学三年の1988年、陸上100m10秒28の日本記録樹立。同年のソウル五輪400mリレーに出場。その後アキレス腱故障で休養するが、1992年のバルセロナ五輪100m、400mリレーに出場。リレーで日本60年振りの入賞(6位)をもたらす。1998年の長野五輪にはボブスレー4人乗りに出場(16位)。現在、中京大職員。同窓会常任理事。





トリノオリンピック（中日新聞社提供）

## 寺尾悟

1975年7月25日、愛知県足助町（現豊田市）出身。足助高校—中京大。1994年リレハンメル五輪ショートトラック1000m4位、500mリレー5位。1998年長野五輪5000m5位、2002年ソルトレイクシティ—五輪500m5位、2006年トリノ五輪500m6位。4大会連続で入賞を果たす。全日本選手権に9度優勝。現在、トヨタ自動車レクサス営業企画部在籍。同窓会副会長。

ートはなくて、各部の寮しかなかった。体育の学生ばかりで、陸上の選手はジャージにゼッケンを着けて歩いてた。近くの理髪店に行つて、例えば「バレー部です」というだけで、店主はバレー部のカットをしてくれました。青戸 施設は当時も充実していましたね。ただ僕は一年の時は遊びに行くときもジャージに名前ゼッケンでした。僕が入ったときに社会学部ができて、一般の学生が増えました。

社会学部の学生で体育会に入っている学生がジャージで教室に入ると怒られるようになったのを覚えています。寺尾 僕は社会学部でしたが、体育学部のスケート仲間によると、女子学生とキャンパスの八号館の前で座って話しているところやましがられたらしい。「あれが大学生活だ」つていわれました。高橋先生と青戸さんは今も大学におられますね。

## 「才能が枯渇するまで走り続ける」

高橋 中京大で教員（助教）をしながら水泳部の監督をしているわけですが、大学の看板を背負いトップクラスの選手を育成することが目標ですね。私はロス五輪の後、一度引退しましたが、中京大大学院に入り、終えてからソウル五輪を目指しました。ロスからソウルの間に勉強できることに気づいたからです。水泳選手は指導者のメニューに従って練習するのが一般的です。例えていうならば、出された食事を食べるわけです。ところが、大学院時代、自分で食材を買ってきて、自分に合ったものを作つて食べた方が体に良いのではないかと思つたのです。つまり与えられた練習メニューを自分でかみ砕いて考え、練習に取り入れた方が役立つ。そんなことを教えられる指導者にな

ろうと思つてコーチをしていると、体が動くようになった。プレッシャーもなくて、自分なりに練習メニューを作つて、ソウルに出たわけです。今では学生たちには自分でも考えて練習させるようにしています。それが強くなることだと思います。将来、彼らが指導者になって、中京大に選手を送り出す。そんな循環が理想ですね。青戸君は生涯現役を貫くわけですね。青戸 大学職員として名古屋キャンパスの生課にいますが、陸上の現役選手を続けるといふプライドとこだわりも持っています。速く走れると言う才能を枯渇するまで使つてみたい。走る楽しみと同時に、どのように走れなくなるのかを見てみたい。中学三年で二〇秒九、三五歳で二〇秒七。二〇年間ぐらい二〇秒台

で走り続けています。何歳まで二〇秒台で走れるのか。そのこだわりが強い。今年四〇歳で節目の年。練習を続けて、マスターズ四〇歳の日本記録、世界記録を目標にしています。それと文部科学省の派遣事業で、スポーツ選手ふれあい指導事業」をしています。小学生たちにかっこを教え、最後に僕が小学生の目の前で五〇mを走ります。少子化でスポーツをする人が少なくなり、小学生の体力は低下しました。スポーツ界は危ない。

## 「同窓生の結束力が強く、温かさが伝わってくる」

サッカー、野球をへとへとになるまでやる子どもがいる。半面、ゲームしかやらない子もいる。スポーツの裾野が広くないと国のレベルも下がる。まずはスポーツの基本である「走る」ことから始めてほしいのです。実際に走りを見せること、いつしよに走り速さを体感すること、彼らの心をとらえたいのです。

**寺尾** 僕はトヨタ自動車に務めています。企業に入ってよかったと思います。自分のペースで練習ができた学生時代と違い、定時の仕

事をこなしながら練習する社会人生活ははじめは苦しかった。しかし、仕事以外で五輪などに出場し社内では話題にして頂くようになり、お金では買えないことがあることが分かりました。今は仕事六割、練習四割ですが、安心して練習できるのは職場のみなさんに理解して頂いているおかげです。僕が活躍すること、計り知れない何かが生まれるのではないのか。好きなことをしながら、仕事もキャリアも積める、最高の環境にいると思います。

**高橋** 失いたくないのはチャレンジする気持ちですね。自分のことを振り返り、選手を指導していると守りに入ったり、不安を感じているときはチャンス逃したりということに気づいた。常に挑戦する気持が必要ですね。

昨午が体育学部の五〇周年で、各部も創部五〇周年を迎えました。私はちょうど半分の二五期生。同窓生が世の中で力を発揮して頂ける年代になってきました。私たちも良いニュースを発信していきたい。

**青戸** 「継続は力なり」と言う言葉が好きです。私と同じ四〇歳前後の方や先輩方は、仕事やプライベートに大変な時期を迎えていると思います。なかなかスポーツもできなと思っていますが、皆さんもやれば、続けることができ

きると思います。私も中年でまだ走っています。私は中京大が大好きです。大学も進化しています。しばらくご無沙汰している方たちはぜひ来て頂いて、成長を見てほしいですね。

**寺尾** 僕は、大事は小事である」という言葉を座右の銘にしています。三年前に転倒して大けがしましたが、それを機にフォームを変えて、その結果、記録が伸び始めました。ピンチを逆にチャンスと考えることが大事ですね。同窓会の副会長を務めさせて頂いておりませんが、同窓生の結束力は強い。仲間意識が強く、温かさを感じます。もっと交流できる機会を増やして、中部から全国に名をはせる総合大学になるよう協力したいものです。



中京大学創立者 梅村清明先生の銅像の前で





# 公務員に強い大学 資格にも強い大学

学校法人梅村学園  
総長・理事長

梅村清弘

中京大学は二〇〇七年度、複雑、多様化した現代社会に実践的に対応できる人材を育成するため、現在の社会学部を現代社会学部に改組いたします。〇五年度に商学部を総合政策学部、〇六年度には情報科学部を情報理工学部へ改組しており、既存学部を三年連続で改組することになります。〇八年度にはさらに時代の変化に対応した学部を改組で設置する計画で、時代の変化、社会の変容に合わせていく大学の改革に「終わり」はありません。

同窓生の中には、出身学部の名がなくなる会員もありますが、いまは、大学本体も統合や閉鎖で消えていく厳しい時代です。改組した学部は時代に合わせて発展したものであり、生まれ変わった学部が立派に成長していくように、見守り、支援してください。

中京大学は現在、十学部、大学院十研究科に加えビジネススクール、ロースクールを擁し、全国私立大学で三番目の学部規模を誇っておりますが、大学評価のもう一つの基準は、入学生の学力と卒業時の学力です。特に、在学中にどれだけ力を蓄えるか、でありますが、

国家試験など各種公的な試験結果をみますと、大きな力をつけて卒業していくことが数字で客観的に裏付けられています。

本年度、難関といわれる公務員試験の合格者は、最難関の国家一種二人、国家二種十一人、国税専門官十二人、地方上級職九人を数えました。中部圏の私立大学で国家種の合格者は本学のみ、種は南山大学の十三人に次ぎ、他大学を大きく引き離し、南山大学と頭を並べました。

在学中に資格を取得した学生は社会保険労務士十三人、宅建主任者二百六十七人など、全国堂々トップの成績でした。たとえば、宅建主任者試験の合格率は全国平均二七・一パーセントと難関ですが、本学はなんと九二・一パーセント、社会保険労務士は全国八・五パーセントで本学は四〇・六パーセントでした。他大学の関係者が、「信シラレナイ」を連発するばかりだったというのはうなづけます。

この五月、中京大学では全国に明るい話題を提供する教育施設がオープンします。校友会本部の協力で完工、開場するアイススケート場「中京大アイスアリーナ」で、中部圏の



大学では初めて、全国の大学でも二番目の施設。在学生の冬季スポーツ教科を指導、教育する場として活用するほか、安藤美姫、小塚崇彦、浅田真央各選手ら梅村学園に在学する世界的なフィギュアスケーターの練習の場になり、さらにここから世界に雄飛していく選手が輩出するのではないかと期待しています。

大学には研究、教育のほかに、地域に夢と活力を与える、もう一つの役割がありますが、アイスアリーナがフィギュアスケートの「美と科学」を追求し、スポーツの素晴らしさを全国に発信していく施設になることは間違いありません。

中京大学は、地域に活力と夢を与える、魅力あふれる大学として、存在感がますます高まっています。同窓生のみならずには、誇れる母校、大学にとっては、誇れる同窓生と、大学、同窓会の「誇れる関係」がますます強まっていくよう願っています。



# 新学長の抱負



## 学長 北川 薫

1945年6月名古屋生まれ。東大教育学部卒。77年本学体育学部講師に就任。83年体育学部教授。01から06年3月まで体育学部長。同4月から国際センター所長。教育学博士。専攻は運動・スポーツ生理学。趣味は読書、サッカー、スキー。同級生に松坂屋社長の茶村俊一氏、愛知淑徳学園理事長の小林素文氏など。ご家族は奥様と娘さんご夫妻、2人のお孫さん。

小川英次前学長は、尽力された教育改革を始めとする学内改革・運営に「一応の区切りがついたことなどを理由に、「後進に学長職を譲りたい」として任期を二年残して退任されました。小川学長の退任に伴い、十二月中旬に学長選挙が行われ、北川薫体育学部教授が多数の票を獲得して学長就任が決まりました。

## 同窓生の方々には、いつまでも「誇れる母校」として

私が中京大学に奉職してからは、はや三〇年の歳月が経過いたします。赴任した当時、若木だったボプラも、見上げるような並木となり、キャンパスの四季折々に彩りを添えるようになりました。この間、本学の進化は目覚ましく、現在は十学部十六学科、学生数二万三千余名という全国でも屈指の総合大学となっているのはご承知のとおりです。

今まさしく、中京大学は発展の踊り場にあります。今後、旧帝大や東西の著名私立大学に伍して発展を遂げるには、他の歴史ある大学を参考に現状を精査し、欠けたるものを補い、長所を伸ばさなければなりません。例えば、クラス編成を再考して学生一人ひとりに目配りできる教育体制の確立、あるいは就職活動などで卒業最後の年をあわただしく送る四年生への充実した授業科目の提供、国際化にともなう外国人研究者の受け入れ態勢の整備など、取り組むべきことは限りなくあります。教育力が問われる就職についても、さらに支援体制を強化し、人間力向上のためのキャリアサポートプログラムや資格講座の充実を一層進めなくてはなりません。また、これまでの伝統を継承し、楽しく元気のある大学としてのイメージを確立したいと考えています。



本学の学生は、向学心も高い上、若者らしい無邪気さ、さわやかさにあふれ、文武両道を極める彼らから、教員も日々の活力をもらっています。こうした長所を伸ばすために、施設・設備面、あるいはカリキュラムに絶え間の

ない工夫をこらす必要があります。一方、学生においては、専門科目の重要性はもちろんのこと、教養科目の重要性を見落としてはいけません。幅広い人格形成には不可欠です。なかでも「歴史」からは多く人間の知恵を学ぶことができます。世界観、価値観、言葉を換えていうなら、「ものの見方」を歴史から養ってほしいと思っています。

「動的安定」、物事はすべて外観は同じように安定して見えているにしても、その内側では流動し変化を続けている、というのが運動・スポーツ生理学者として培った私の「ものの見方」です。本学もまた、現状に甘んじることなく、絶えず変化しながら、その名声を維持し、高め続けなければなりません。新学長として、同窓生の皆様には、「誇れる母校」として、さらなる発展を遂げるよう努力することをお誓いし、温かいご支援、ご協力をお願いする次第です。

## 新学部開設

現代社会を生き抜くスキルと理論を

# 現代社会学部

## 2007年4月開設

現代社会学部  
学部長 齊藤 尚文

中京大学は大胆な改革を行うことによって活性化を図っています。現代社会学部の開設もその一連の動きのなかに位置づけられますが、それだけにとどまるわけではありません。その背景と新学部の内容を学部長から――

### 6つの教育・研究フィールド

- ・環境とまちづくり
- ・共生と福祉
- ・教育・家族とライフコース
- ・心のケアとサポート
- ・メディア表現
- ・グローバル化と文化

### 強く独自性を アピールするために 社会学部を改組

「現代」と付けたのは、どうしていまのような社会になっているのか、どういった人たちが、どんな思いで暮らしているのか、これから社会はどうなっていくのかなど、現代をより強く意識するものにしたという思いがあったことです。そのため、現代家族論、現代メディア論、現代スポーツ論など、強く現代にかかわる科目も採り入れました。

新学部では、学生自身が「やりたいこと」を見つけれられるように六つの研究領域を設けています。カリキュラムは、スキル系と理論系に大別されています。スキル系では、一年次にパソコンを使う能力とコミュニケーション能力を基礎から身につ



けます。その上で、社会調査技法を学ぶ段階へ進むことになります。一方、理論面では、社会学入門から始まり、学年が上がるにつれて、専門性のより高い科目を履修することになります。社会学部の中から、演習は一年次から四年次まで続きます。演習では、スキル系で学んだことと理論系で学んだことを統合して、学生が自分自身の社会学を築くこととなります。

その学び方ですが、重点を置いているのは、「フィールドワーク（現地調査）」、「プラクティス（現場体験）」、「プレゼンテーション（発表・提言）」です。例えば、フィールドワークの取り組みの二つに「ドラゴンズ・プロジェクト」があります。それが調査だけに終わらず、ファン獲得・ファンサービスの向上のための提案として、報告書にまとめ、中日ドラゴンズ球団にプレゼンテーションを行います。科目の中には、さまざまな領域



「ドラゴンズ・プロジェクト」フィールドワーク

で活躍しておられる市民からお話をうかがう市民活動各論や、ワークショップ形式で参加型の国際理解教育論などがありますが、それも学問的な背景をもって、理論的科目と交流しながら学んでいくのが基本的なスタンスです。

### 教育の成果を端的に物語る外からの高い評価

本学部の特徴は、スキル科目を含めて、各教員が科目間の連携を常に考えていることにあります。ほかの科目のことに無関心ではないられないというのが大半の教員の

意識で、丁寧に、生真面目に、きちんと教育に当たる姿勢は学風として定着し、その成果は高い就職決定率にも表れています。とりわけ最近では、各大学でキャリア教育が盛んですが、本学部ではそれを単なる職業教育に終わらせず、「何をやっても食っていける」「職場そのものを変えていける」、そんな人材を育てたいのです。「何かになりたい」といつできあいの目標よりも「こんなふうに生きたい」といった、主体性を養ってほしいのです。

教育に当たるスタッフも、設立時に比べて大幅に入れ替わりました。学部の方針として、スタッフは広く公募し、学界でも一流の研究者と評価されている人材を積極的に登用した結果です。いまでは三十歳代後半から六十歳代まで、老壮青年の世代的にバランスの取れた、非常に優秀で、多彩な教授陣となっています。卒業生で教職に就く者も多く、名古屋大学、西南学院大学など、公立私立を問わず、最高学府で活躍する教員も輩出しています。社会学部が発足した当時、豊田キャンパスは生活にも不便をきたしていました。いまでは嘘のような

話ですが、学生たちがいろいろな課題に向き合い、少しでもよくしようとする取り組み、キャンパスライフの充実につながっています。まさに、自分たちで考え、行動して環境を変えていったのです。現代社会学部も、こうした伝統を継承し、課題解決に力を発揮できる人材を養成していくつもりです。



市民活動へ実際に加わる齊藤ゼミ（のんびり村の行事に参加）

WORK SHOP REPORT 01

# 西濃運輸株式会社

“カンガルー便”の愛称でおなじみの西濃運輸。岐阜県大垣市に本社を置き、企業物流No.1を掲げる万全のサービス体制によって、そのネットワークは日本全国はもとよりグローバルに広がっています。企業理念である「福寿草精神」は、どんな試練にも耐え挑み続ける魂のこと。建学の精神とも共通項が多いようです。

## 職場拝見

### 社会でこそ生きる、真剣味の精神

**山中** 卒業して四〇年以上も経ちましたが、今でも想い出されますのは、スケート部でのハードな練習の日々ですね。とくにスピードスケートでしたので興正寺を本拠地に、五、六〇段はある石段を昇り降りして足腰をトレーニング。合宿でも木曾の山中をとにかく走らされました。本当に厳しいものでしたが、そんな精神的、肉体的な鍛練が社会に出てからの楯となったように思います。「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」、卒業してもこの建学の精神は頭を離れませぬ。

**多久島** 真剣味という言葉、僕も大好きです。高校一年生の時から、競歩のトップアスリートになると昼夜トレーニングしてきまして、その夢を叶えるのは中京大学以外にはないと……。ですから入学後、陸上部のハードな練習も、礼儀や上下関係の厳しさも自然に受けとめることができた。厳しさの中にあるひたむきさ、目標に向かっていく真剣さに共感できたんです。

**前刀** まじめに、コツコツ努力するという精神は、私も大学時代に培われたように思います。とくに厳しい部活動の経験ではあり



ませんが、軟式野球のサークルを作ったんですね。当時、私は下宿しておらず、犬山の実家から社会学部のある豊田キャンパスまでは片道二時間。さらに毎週日曜は地元チームとの親睦試合もあって、毎日のように四時間かけて往復していました。改めて考えてみると、現在の仕事をする上でもそんな粘り強さが大いに役立つている気がします。

**傍島** 西濃運輸グループ全体で、現在同窓生は五八名おりますが、そうした真剣味の精神は随所に感じられます。社外でも母校のヒューマンネットワークの広さとながりの深さを実感することもしばしば。私も大垣に住んでいましたから前刀君と同様、長距離通学でした。当時、一緒に通うようになった仲間が「〇名ほどいたでしょうか。帰り道、顔を合わせれば遊びに行きましたし、そんな彼らとの交流は卒業して三〇年近く経つた今でも親しく続いています。また、卒業生の中には同業者もいたり、情報交換しやすいですね。卒業生の数も圧倒的なものがありますが、つくづく力のある大学だなあと、ヒューマンネットワークの素晴らしさを感じているところです。

### 同窓の絆はつよく、こころの奥深くに

**前刀** そのヒューマンネットワークこそ、中京大学の魅力ですよ。卒業生の多さが就職に有利に働くだらうと期待して入学したところもありましたが、この会社に就職でき、その強みを実感できました。また社内に同窓生が多いのは仕事もやりやすい。ふつう一社員が取締役と気軽に会話なんてできませんが、親近感を抱いていただけのせいかな、難しい懸案も話しやすい空気がある。それは人とのつながりであって、なおかつ同窓生としての結びつきからくるものなんですよね。

**多久島** 僕は人とのつながりというか、先生方の手厚いサポートに本当に助けていただいたように思います。とくに陸上部の監督で中尾隆行先生(現・中京大学陸上競技部部長)ですが、四年生の頃、念願叶って一〇〇〇〇メートル競歩で日本新記録を達成できたのも、就職できたのも先生のおかげ。実は体育教師をめざして教職課程を取っていました。四年生の時、単位を一つ落としてしまったんです。留年するか、社会人となって競歩を続けるか。人生の岐路で悩む僕を導いてくれたのはやはり中尾先生でした。結果、この会社に入社後、世界陸上に出場でき、日本記録を一度も更新することができた。本当に感謝していますね。

**山中** 人とのつながりと言いますか、人の和を感じますよね。私は多久島君のように偉大な成績は残せませんでした。それでも四年





間、スケートも勉強も本当のびのびとやらせてもらえた。一体どうしてかと考えてみると、学風であったり先生や友人、すべての和が非常によく保たれていたせいではないかと思うんです。今やインターネットに象徴されるように個人主義の時代ですが、企業において協調性は不可欠です。とりわけパートナーシップや礼節を重んじ、「福寿草精神」を掲げる当社にとって、学生時代にそれらを身につけてこられた中京大生は当社が求める人材像にピッタリと一致するんですよ。相通ずるものを感じています。

**進化しつつも、  
守るべき伝統をいつまでも**

**前刀** ところでスケート場が整備され、新学部もできるようですが、今後ますますバフエティにとんだ人材が世界中に輩出されていくことでしょうかね。

**山中** 私たちの頃は四学部だったかな。それ

が今は十一学部でしょう。校舎もすつかり立派に様変わりしましたし、昔とは雲泥の差ですよ。

**傍島** 地下鉄も上がってます、ですから。交通アクセスも随分スムーズになりましたし、また質の面でも教育レベルがぐっと向上したことは外部から見ていると頼もしく思います。全国に誇る総合大学として今後一層、大きくなっていくことでしょうか、スポーツと学業の両立、そんな我が校の伝統的な部分をさらに発展させることで、日本一の大学にならていただきたいですね。

**多久島** 今、僕は中高生に競歩を指導していますが、彼らを見て感じるのには、先ほど山中常務の言葉にあったように、個人主義だということ。僕自身は大学の陸上部でルールを守ること、ベストを尽くすことの大切さやチームワークを教え込まれましたが、彼らはそこが育っていない。ですから中京大にはずっと、礼節や強調性を学べる場であって欲しいと思います。

**山中** 学生時代を漫然と過ごす方はいないでしょうが、一年三六五日、その四倍ある時間をどう使うか。あくまでも個人の課題ですが、何を身につけるにせよ、すべての経験値がそのまま社会へ出てから人間としての価値になる。いわば人間形成に非常に大切な四年間です。今、世の中は至れり尽くせりであり、若い学生たちは与えられることに慣れてしまいがちですが、彼らが得た知識をやがて生きた知恵にできるよう、多彩な経験値を積める大学であり続けて欲しいですね。

- ① **多久島 努さん**  
1988年度 体育学部体育学科卒  
運行事業部工務課 主幹
- ② **傍島 正法さん**  
1979年度 商学部経営学科卒  
取締役 営業本部担当
- ③ **山中 邦隼さん**  
1966年度 商学部経営学科卒  
常務取締役 労務統括担当
- ④ **前刀 康宏さん**  
1991年度 社会学部社会学科卒  
建築営繕課 係長



# 岡崎信用金庫

WORK SHOP REPORT 02

全国の信用金庫の中で預金規模第3位。「おかしん」は愛知県のすみずみ、そして静岡県にまでネットワークを張り巡らせたビッグ・バンク。外からは、「お堅い」といわれるカラーながら、働く職員のお人柄は思いやりにあふれています。同窓生58名に加えて、今年は10名の新卒も入社予定。新たな風を吹き込みます。

## ゼミで、部活で、 そしてアルバイトで 磨かれた人間としての素養

**安達** 学生時代の思い出は三年の夏に行われたゼミ合宿ですね。ゼミは、教員を目指している人向けのものでしたが、京都の二燈園に一週間合宿に行って、早朝から座禅を組んだり、掃除をしたり、その後も英字新聞を読んだり、ドリルをこなしたり、昼からも英語漬けの毎日でした。

**小笠原** 私は卓球部での寮生活ですね。そのなかで、今考えれば、礼儀などを学んだかなと思います。一年生のときに四年生の先輩に付いている指導されたのですが、同じ社会学部でしたので、履修方法など教えていただいたり、テストのときは一緒に勉強したり、本当にほとんどの時間を先輩と一緒に過ごしました。地元の先輩なので、今も月に一回くらいは会っています。

**竹内** 四年間野球漬けでしたので、やはり野球と寮生活の印象が一番強いですね。一年生の秋からレギュラーでしたが、二年生の秋に一部

に上がって、四年の最後の秋に神宮に行きました。神宮では回戦で法政に負けましたが、当時はプロ志望でした。

**安達** シティーホテルで宴会場のアルバイトもやっていた。当時、三大サービス業はホテル業、銀行業、航空会社といわれていた時代でした。そのなかで、自分を磨けたかなと思います。

**小笠原** 授業には、まじめに出席はしていませんが、そのなかで児童自立支援施設という、両親に事情があって一緒に住めない子たちが集まった所に研修のため二週間泊り込みで行ったことがあります。そういったなかで、自分が思っている家族像と、その子たちのそれは全然違うというか、普通だと思っていたことが普通じゃないんだということを実感しました。ほかの人の立場になって考えることが重要だということ学びましたね。

**竹内** 大学の野球部で感じたのは、上下関係はもちろんありますが、結構フレンドリーな感じで、大人の部活だなということですね。覚えたのは、努力をすることと、「継続は力なり」ということ、あとは上下関係、目上の人への常識的な接し方、マナーですね。

## 地域に密着し、 お客様とともに伸びる フレンドリーな金融機関

**安達** 岡信を選んだのは、アルバイトをしてい



信用金庫も同じように、お客様とお付き合いをさせていただいて、成長していくという喜びが感じられる職場ではないのかなと思って…。

**小笠原** 私の場合、初めから金融志望ではなかったんですが、行きたい所を考えていたら、結果的に金融機関で岡信だったということとです。卓球部の先輩に話を聞いたりして、自分に合っているのかなと思って選びました。

**竹内** 僕は大学を卒業するときに選択肢がいろいろあって、プロに入るためには社会人野球をやれる会社のほうがよかったです。そちらに入ってプロに行けずに野球人生を終わってしまうと、その会社に残る方は少ない。それで自分の将来を考えて、岡信に入社しました。その時点で、プロ野球の夢は半分くらい捨てたかなと思います。

**小笠原** でも、お互い入ってよかったですね。店舗によって異なってくると思いますが、今勤務している安城の今村支店は小規模の店舗で、渉外、融資、預金と分かれているんですが、上の方も話しやすく、思ったことはいえます。





また、違うよとい  
うことはキチンと  
説明してもらえ  
ますので、勉強す  
るのにとってもいい  
環境です。

**安達** 温かみがあるといわれる一方で、「岡信  
は堅い」と言われています。「貸すも親切、貸  
さぬも親切」という言葉があるんですが、何で  
もお客様の言うことを聞いてあげるといっ  
ではなく、「こいつはリスクもあるんじゃないで  
すか」というようなことを具申しながら、パー  
トナーとして動くのも岡信らしいところですね。

**竹内** 地域での信頼も厚い。野球部の先輩か  
ら、「ちょっとでも自分の将来を考えるのであ  
れば岡信に来たほうがいい。野球もやれる」と  
いわれたんです。それが決め手になったので  
が、今も野球部において、軟式野球を楽しんでい  
ます。部員は二十人ぐらいで、土曜日に練習を  
して、毎週日曜日は岡崎市の連盟の試合です。  
大体優勝しますが、いい交流にもなりますね。  
**安達** 学生時代にスポーツをやっている人は、  
人間的にも魅力がありますよね。勉強ばかり  
りして、国家資格を取ったとしても、その資  
格を生かすには、人間的に優れていなければ  
効力がない。知識と行動はやはり別のものだ  
と思います。ですから大学在学中に人間性  
の部分で磨いていただきたい。頭でかちにな  
つてしまったら、社会に出てから、さほどの活  
躍ができませんんじゃないでしょうか。

**竹内** 例えば銀行に入りたいという学生の

場合、「四年間スポーツしかやっていないし、  
勉強もろくにやっていないから、銀行はたぶん  
無理だろうな」というような先入観がある  
のならば、それを捨ててほしいですね。私も  
昔から野球をやってきて、正直勉強はあまり  
やっていないんです。ですが、スポーツを通じて  
人間関係や礼儀、忍耐力というものを養って  
いけば、何とかかなります。

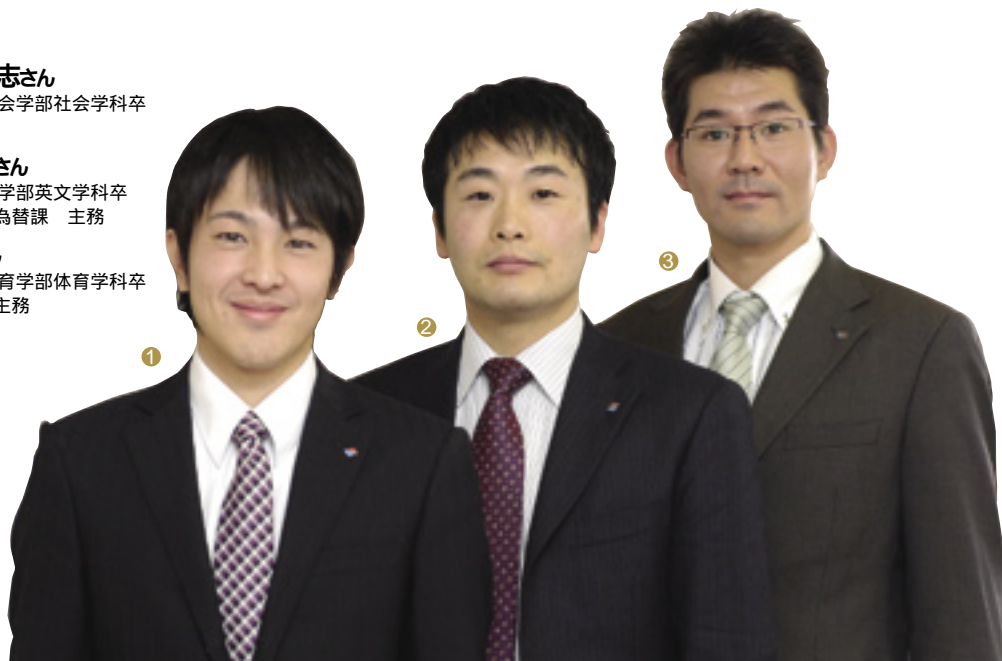
### OBの評価が高まれば、 学校の評価も自ずと高まる

**小笠原** そうですね。教科で学べないような  
ことが人と接することで学べる。資格を取る  
ためだけの勉強にならないように、積極的  
に外に出ている人々と交流を持っていただ  
き。そんな人たちが外に出て、OBの社会  
的評価が高まると、大学全体の評価につな  
がっていくということでしょうね。

**竹内** 確かに、最近では中京大学の印象自  
体も変わってきています。特にスポーツマンは  
元気でスタミナもあるし、信用金庫でも営業  
の場合、体力的なものも重視されますので、  
会社の上司や部の監督にも、中京大で今、い  
いやくないか」とよく聞かれますね。企業側  
から見た中京大学のイメージも、グンと上が  
つていると思います。

**安達** 卒業生として、入学者の偏差値が上  
がっていると、国家試験や資格試験などで  
在校生の方が頑張っておられるというのは  
やはり誇りですね。言われ始めているとは思

のですが、今後さらに発展して、中京大学が  
東海地方で屈指の私立大学として不動の地  
位を確立し、欲を言えば東京の早慶、関西の  
同志社、立命館などに並ぶような超一流の私  
立大学になってほしいと思いますね。



- ① **小笠原 憲志さん**  
2002年度 社会学部社会学科卒  
今村支店
- ② **安達 政彦さん**  
1995年度 文学部英文学科卒  
柳橋支店 外国為替課 主務
- ③ **竹内 誠さん**  
1997年度 体育学部体育学科卒  
安田通支店 主務



## 学生時代が 出発点だった 「ヤマハ」での20年

角 一幸さん

1972年度 法学部法律学科卒  
株式会社つま恋代表取締役社長・総支配人

学生の頃は、とにかくフォークソング全盛の時代で、大教室で三名のグループでよくコンサートを開き、よく歌いました。当時は現在の様にPA機器が発達していなくて、先輩から「1000人収容の教室であろうとも、マイクなしで後ろまで聞こえるように歌え」と指導されていたのを覚えています。グループ名は「ソウルズ」で、同期生の下八尻さん、山下さんと三名で、ラジオに出演したり、ヤマハのライトミュージックコンサート等に参加したりしていました。

大学祭の実行委員も務めました。また、先輩のすすめで、柳橋にある朝日カルチャーセンターでフォークソングギターの講師を三年間経験し、最後は80名の生徒指導をしていました。まさに学生生活を満喫したわけです。

就職する時期に、ちょうどヤマハがリゾート事業をスタートするため社員募集をしていて、昭和四八年に入社しました。最初の仕事が「ヤマハリゾートつま恋」です。つま恋は昭和四九年のオープンですが、建設前のプロジェクトの一員としていろいろな仕事をしました。つま恋を皮切りに私の仕事は転々と変わっていきます。地名でいいますと名古屋・屋久島・銀座、そして昭和五四年からは「リゾートビジネス

入から自分の好きな音楽ビジネスの仕事をする事になり、渋谷・千葉・神戸・梅田・高松・堺・心斎橋のヤマハの直営店で楽器販売ならびに音楽教室の運営の仕事に従事しました。平成十三年には再びつ

つま恋に戻ります。そして五年後の平成十八年九月二三日には皆様ご存知の「吉田拓郎&かぐや姫」のコンサートがつま恋で行われたのです。

会社人生を振り返ってみますと「リゾートビジネス十二年・音楽ビジネス二〇年」と言う事になります。リゾートでお客様におもてなしをすること、ヤマハ直営店において楽器を販売したり教室でお客様と会話したりすること、いずれも「接客を通じた仕事」ということで共通していました。大学時代自分の好きなことを思いっきり楽しく実行してきたことが社会に入ってから大きな力となりました。

機会ございましたら是非とも静岡県掛川市にある「ヤマハリゾートつま恋」にお越し下さい。



吉田拓郎&かぐや姫 コンサート





小林 悦夫さん

1974年度 体育学部体育学科卒  
山梨学院大学教授

## 中京大学が私に 与えてくれたもの

実は、私は中京大学に八年間も在籍した落第生でした。今思い出してみると、最初の四年間はラグビー部に在籍し、部活を中心に時間を費やしていたように思います。三年終了時の進路調査には、白紙で提出したような記憶があります。おそらく、社会人になるための自覚はまだ薄く、目標とする仕事も見つからず、暗澹とした日々を過していたのでしよう。その後の四年間は、放浪の旅に全国を回ったり、警備会社の下請けで学生募集をしたり、時には、デパートの保安委員など、多種多様な経験を積みました。その間、多くの人々に接することによって、自立出来たのではないかと考えています。

一九七五年（昭和五〇年）卒業後、縁あって山梨学院大学に勤務して三〇余年になりました。当時の山梨学院は地方大学に有りがちな規模も小さな大学で、しかも学園紛争の余波を受けてか、学生数も少なく、キャンパス内は無気力な学生が多く在籍していました。そこで、私たち体育の教員は、学生に活力を与え、自信を付けさせるためには、クラブ活動（体育会）の活性化しかないと考え、カレッジスポーツの振興に取り組みました。私自身、大学時代の経験を生かして、体育実技の学生を説得し、ラグビーの素晴らしさ、面白さなどを教授しながら、ラグビー部を創部しました。三年目には、山梨県代表

として関東大会に出場、後に全国地区対抗大学ラグビー大会には二度出場し、現在関東大学リーグ戦二部に籍を置いています。創部当時は、五月の大連休を利用して、母校豊田キャンパスの青雲寮に合宿させて頂き、金澤睦先生の指導を受けたことなど、中京大学には本当に感謝しております。

山梨学院は、一九七七年、日本で始めて「カレッジスポーツの振興」を掲げました。二〇〇四年には日本オリンピック委員会から、栄えある「JOCスポーツ賞」「トップアスリートサポート賞」の初代優秀団体を授かりました。私たち体育の教員が、信念を持って取り組んだ成果だと自負しております。

現在私は、第二の強化クラブを創部するため、ゴルフ部の部長として、学生と共にAブロック昇格を目指しつつ、ゴルフに励んでいます。





## 恩師や先輩の熱心な指導のおかげで法曹界へ

金井 正成さん

1992年度 法学研究科法律学専攻・修士課程卒  
弁護士

私が法学研究科に入った平成三年当時は、税理士試験において、法学修士論文を提出すると税法科目が免除される制度がありました。そこで、私も税法科目の免除を得たいと思って、法学研究科に入ったのです。正直に申し上げると、極めて打算的な入学動機でした。

ところが、法学研究科受験、法学研究科在籍を通じて、法律への興味が高まっていったのです。その理由としては、私の指導教授であり商法の大家である北澤正啓先生（一九九二年四月～二〇〇〇年三月には学長）や他の多くの先生が、質問などしても、とことんつきあっていたことが大きかったと思います。このような経緯により、私は司法試験の受験を決意しました。

平成四年の暮れごろ、現在、法科大学院長代理等の要職を務めておられる池野千白先生から、司法試験合格者が主催するゼミに参加してみないかとお誘いを受けました。一回目の司法試験で厚い壁を感じていた私は、喜んで参加させていただきました。それまで弁護士はおろか、司法試験の合格者にすら接したことのなかった私は、司法試験に合格したばかりの近藤朗先生（現在愛知県弁護士会所属）にお会いし、こんなに熱心に接してくれる人がいるんだと衝撃を受けました。先生は、自分の持つ



ている全てを伝えようと熱心に指導され、そのおかげで、私は平成五年の短答（択一）試験に合格し（当時は原則として、一年で短答、論文、口述の全てに合格して、最終合格となる制度でした）、平成八年の最終合格への足がかりをつくることができました。

私が現在、弁護士事務所を構えることができているのも、このような中京大学にかかわる方々のご縁によるものであることは間違いありません。

これからも、中京大学で得たご縁を大切にし、同窓生の皆様方のご発展ともども、自分も世の中のために微力を尽くしたいと思います。





## 加藤 正治さん

1998年度 情報科学部認知科学科卒  
公認会計士(新日本監査法人)

# 公認会計士への道

平成十二年に、中京大学情報科学部認知科学科を卒業してはや八年が過ぎようとしています。

私が、大学の学部と全く関係のない、公認会計士試験の受験を決意したのは、大学四年生のときです。

当時私は、将来どのような職業に就きたいかと悩んでいました。それは、情報科学部で学んだ多くのことを、具体的な仕事として直接結びつけられずいたためです。そのため大学四年生の時に、公務員試験及び資格試験並びに各種職業について調べました。その中からひとつを選ぶにあたって考慮したことは、職業的専門家になれることと、将来多様な選択肢があるかどうかということです。

そして、公認会計士は、会計及び監査の職業的専門家であり、また、監査だけでなく、株式公開業務やコンサルティングなど、多様な選択肢もあると思いました。そのため、公認会計士になりたいという思いが強くなり公認会計士試験の受験を決意しました。勉強を始めたのは、大学卒業とほぼ同時期です。で、平成十八年の合格まで約七年半かかり、受験回数も六回になります。このように、受験期間が長期に渡ると精神的においつめられ、受験をやめたほうが良いのではないかと、いつかという気持ちに何度もなりかけました。しかし、今ここで目標を諦めたら一生後悔するという気持ちと、子供のわがままを聞いてくれて

応援してくれている両親の気持ちに応えたいという思いで踏みとまりました。

このように受験生活は大変厳しいものですが、得ることもありました。それは、自分で目標を設定し、その目標を達成するための計画をつくり、それを実行するといつプロセスを学ぶことが出来たことです。また、普段はあまりわからない親のありがたみも実感することができました。

私は、今年運よく試験に合格することができましたが、試験の合格はスタートラインにすぎません。今、会計監査は激動の時代を迎えており、会計監査の信頼性を揺るがす事例が相次いで発覚しています。私も、会計監査に関わることになるので、早く一人前の会計士になり、微力ながら会計監査の信頼性向上に資するような仕事をして社会に貢献できるように、頑張っていきたいと思えます。



# 中京大学同窓生 名刺交換会

二〇〇七年一月二七日

## 同窓生としての絆を、更に強く

同窓生名刺交換会は、今年で三回目。

梅村清弘総長・理事長の

「次回は都心のホテルに会場を移して、もっと盛大にやろう」との約束どおり、本年度はシャンテリアの輝く名古屋観光ホテル「那古の間」で開かれました。



「国内で、ものづくりを続けている限り、日本の衰退はないだろう」(水谷教授)

出席した同窓生は二五〇余名。その三分の二が、はじめて参加される方々です。開会の挨拶に立った土方会長は、他の大学の関係者がうらやまほどの驚異的な発展を遂げた母校への賛辞と、その原動力ともいえる同窓生の方々への感謝の気持ちを表明、「来年は、同窓会設立五十年、同窓生十万人突破という記念すべき年になる」と述べ、有数の名門大学として名をなすようになった母校へのさらなる協力を呼びかけました。

次いで、参会者が楽しみにしていたビジネス・イノベーション研究科長・水谷研治教授の「今後の経済情勢について」と題する講演では、先行きの経済情勢はなかなか判らないと云いつつも、政府の中期的经济見通しであるGDP三%台の成長は必ずしも容易ではないこと、現在の好景気を維持するには、再建が急務の財政支出に依存せざるを得ない状況にあり、難しい経済の舵取りが求められるという見解が示されました。ただし、今年に限っていえば、外交が行き詰まっていた大きな政策変動を欲していない米国、オリンピックまではなんとか現状を維持したい中国の二つの大国の状



況を見る限り、好景気は続くだろうとのこと託宣。最後に、先生は、「一番大事なことは、知恵です。知恵とは技術です。その知恵を個人が蓄えなければいけない人が会社や国を支えるのです」と締めくくられました。そして、聴衆の一人からの「ポスト自動車は？」の質問に、「油まみれになりながらも、物を国内でつくっている限り、自動車産業が勢いを失っても、次への活路は見いだせるはずですよ」と、力強く言い切られました。





「この盛況を見て、力がわいてきました。感動を覚えます」(梅村総長・理事長)

宴会場に移動して始まった「名刺交換会」の冒頭、マイクを握られた梅村総長・理事長は、「この盛況を見て、力がわいてきました。感動を覚えます」と切り出し、中京大学の現状と、新学部を設置など将来計画の一端を披露、「まだ、自分の描いている希望の五五%しか達成していない。後継者と共に、限りなく百パーセントに近づけていきたい」との決意を述べられました。本年度で退任される小川学長からは、「楽しく、挑戦的な七年間でした」と学長としての総括がなされるとともに、経営学者としての持論である、「変化の経営」、「技術の経営」、「連携の経営」、「調律の経営」の四つについて、熱のこもったお話がありました。



乾杯の音頭をとられた梅村清英同窓会副会長(理事長代理・経済学部教授)からは、海外にも同窓会支部が誕生するとの画期的な報もあつて、会場は最高の盛り上がり。おいしいお酒や料理もほどほどに、いたるところで名刺交換が始まりました。

「経営のトップにいる先輩諸氏から、いろいろなアドバイスを」(杉浦禎泰さん)

二〇〇二年度経済学部卒の杉浦禎泰さん(瀬戸信用金庫勤務)と谷亮磨さん(大和証券株式会社勤務)は卒業後も

テニスや野球、そして飲み会などで月に二回は必ず会うという旧友。「この会では、金融業界に勤める人との情報交換や、企業のトップにいる先輩諸氏から経営やこれからの身の処し方について助言をもらいたい」(杉浦)との期待を込めて参加しているとか。「大和の坂本龍馬」と呼ばれているという谷さんは、「仕事の幅が広がる」と杉浦さんに誘われての初参加だそうです。

一九七〇年度体育学部卒の矢黒憲昭さんは愛知県警本部の警視。昨年発足した警察部会の会長を務める蟹江警察署長の稲山浩司さん(一九六八年度商学部卒)ともども、「団塊世代の大量退職にともなう警察官の人材不足に、元氣



で優秀な後輩を送り込んでほしい」と、人間関係づくりを願うので参加だといいます。

女性参加者の中で、名刺交換に精を出していたのは一九九四年度文学部卒の小嶋祐子さん(日本郵政公社勤務)。国家試験に合格して郵政省に入り、窓口や愛・地球博郵便局などに勤務して、人間関係の大切さを身をもって経験し、希望して人事部に異動、今は人事育成係として活躍されているとのこと。「教育についてのアドバイスを聞くことができたら」と、先輩諸氏と話し込んでいる姿が印象的でした。

会場は熱気に包まれ、片岡校友会本部長の閉会宣言が終わったにもかかわらず、歓談の輪は解けず、なごりを惜しみ、再会を約束する校友の声がいつまでも続いています。

教育複合棟 / エントランス



## 変貌する中京大学

# Home Coming Day

豊田キャンパス  
第9回 11月4日(土)

「ホームカミングデー」が豊田、名古屋の両キャンパスで開かれました。懐かしいキャンパスを歩いたり、共に学んだ友人との久々の再会を目的に訪れたりする方たちもおられますが、ご家族連れの同窓生が目立つのも近年の特徴です。



レポート  
1 仲間を誘って来ました

体育学部でレクレーション論を教えている大内敬哉君が来年退官するというので、準硬式野球部の仲間を誘って来ました。ここに来るのは初めてという者もいて、感動しきりでしたが、ときどき大内君の研究室に遊びに来る私も、スタジオもある教育複合棟などを見て、正直ビックリしました。昼飯をフードコートといたところで食べたのですが、雰囲気といい、味といい昔とは格段の差。カフェテリアとかビストロもあるんですね。たまたま愛知大学野球リーグの入れ替え戦があつて、野球場にも足を運びましたが、人工芝が敷かれ、両翼九十メートルもある本格的なグラウンドに見てしまいました。

豊田キャンパスには体育学部のほかに三つの学部があるんですね。大内君が、「君たちにはもってこいの介護ロボットもあるよ」という



成瀬 雅夫さん(1958年度 商学部卒) <写真一番左>と準硬式野球部(大内 敬哉先生 <写真一番右>)の同窓生の面々

## 学祭を歩いて

〜豊田キャンパス〜

今年の学祭のテーマである『舞』『行こまい・踊ろまい・騒ごまい』の通り、ステージでの演奏や踊り、各クラブやサークルの物珍しい企画や日頃の研究成果の発表など、見もの、聞きものは盛りだくさん。若いカップルがら年配のお仲間たちまで、時間を忘れ、年齢を忘れて快晴の一日を楽しんでおられました。







陸上競技場グラウンド



人工知能高等研究所



アイスアリーナ(2007年5月完成予定)



<写真左上> 中島 守さん(1990年度 体育学部卒)

今日は、娘たちの学校はすごいと、何度も言っていました。今日は、娘たちのペースでした。来るとすぐステージ前の模擬店に直行。矢絣の着物や可愛いメイド姿の女子学生の呼び込む声に誘われて、「萌系炒麵」を食べ、後は「たこ焼き」や「たまご」に舌鼓。お腹がふくれると、後はゲームやArt Clubで絵を描いたりして、学生さんたちと一緒に楽しく遊んでいました。

豊田キャンパスを訪れるのは卒業以来です。すっかり木々も大きくなって、大学のキャンパスらしくなりましたね。ほとんどの建物がアーチ型の外壁で統一されているのがとても印象的でした。一番行きたかったのは、部活で汗を流したラグビー場でしたが、いまは移転してすっかり見違えるようになっていて驚かされました。そうそう、娘たちが、工事中だったアリーナに興味津々でした。下の娘は一度スケートを習いに行ったり、上の娘もやりたいらしいので、安藤美姫さんや浅田真央ちゃんたちの滑るスケートリンクはあこがれの的です。「お父さんの学校はすごい」と、何度も言っていました。

レポート 2

お父さんの学校はすごい

ので、情報理工学部に行ったところ、レスキューロボットの操縦体験や人工知能による似顔絵作成体験ができました。まさか、中京大学でロボットと触れ合っなんてね。





## Home Coming Day

## 名古屋キャンパス

レポート  
3

## 母校の躍進ぶりを肌で感じる一日

印刷会社に勤めている私は、仕事上で中京大学に関わらせて頂いています。が、「ホームカミングデー」に足を運ぶことはありませんでした。今回は家族の声に押されて参加してみたのですが、改めてキャンパスに時代の変化を感じました。母校は、十五年以上前に卒業した我々には想像出来ないほどの進化を遂げています。諸先輩方にとってはさらに大きな驚きがあると思いますが、ジエネレーションギャップというよりもカルチャーショックを受ける感じで、「これが大学か?」と思うほどの施設の充実をはじめ、すべてにおいて在学当時以上の活気に満ち溢れていました。



家族の評判は上々。子供向けの物作り体験教室などがあり、娘や息子が目を輝かせて竹とんぼ等を作っていました。また、受付の際に学内で使える金券を家族分頂いたので、妻や子供達と一緒に「学食」で昼食を食べました。ある意味最も大学らしさを体感できる「大学祭」の中に組み込まれたこの企画は、青春時代の父親・母親像を子供たちに感じさせることのできる貴重な機会にもなつたと思います。子供にとつて、親を見直す機会になつたかもしれません。母校を訪れる機会の無い方は、是非「ホームカミングデー」を覚えていて、遊びに、そして見学に行かれることをお勧めします。



北村 拓哉さん(1989年度 法学部卒)

## 学祭を歩いて

名古屋キャンパス

今年の学祭のテーマは「晴」。初日の夜は来場者を神話の世界に誘う演劇とパークシヨングループによる演奏会。中日にはホームカミングで来られた諸先輩方と同伴のご家族が物珍しさに目を輝かす展示やイベントが目白押し。そして、宵祭では、満月の下で華麗な「よさこい鳴子踊り」が披露され、参加者一同の大喝のうちに学祭はフィナーレを告げたのでした。





土方清  
同窓会長  
来学

## 母校の発展を目の当たりにし、 交流の輪を広げる絶好の機会

同窓会長就任以来参加している、中京大学の『ホームカミングデー』は、構内(名古屋キャンパス)の工事のために、学生がつくる色とりどりのブースやイベントにいささかの支障をきたしたとはいえ、好天にも恵まれて、華やかで楽しい雰囲気になっていました。

受付で見えましたところ、同窓会メンバーのOB・OGやそのご家族が引きも切らず来場しており、事務局の話では、毎年ホームカミングデーに参加する方々が増えているとのこと。中京大学の成長・発展と、この催しの足並みとが揃って、ますますの充実ぶりが実感できました。

八事・豊田の両キャンパスでのホームカミングデーは、在学生とOB・OGとの触れ合いの場であると同時に、同窓会員として母校の発展や在校生の様子など、中京大学が質的にも大幅に向上したことが実感できる良い機会です。是非、ご家族とともに参加していただくことをお勧めします。むろん遠方において、参加できない方が多いことも承知していますので、このような各種の催しについては、全国の各支部の大会時に、その様子をご覧いただけるよう考えたいと思います。

八事の新しいキャンパスが完成したら、同窓会による「ブース」を出展することを検討しており、同窓会員に立寄っていただくための「魅力づくり」も校友会の方々と相談して充実させ、さらに価値あるものとしていきたいと思えます。



土方清さん(1968年度 商学部卒)



# 支部だより

## 【会長・支部長 紹介】

北は北海道から南は沖縄、さらには台湾まで、それぞれの地域で校友の皆さんの交流は活発になっていきます。中には新たに部会を発足させる支部、ゴルフコンペを開く支部、体制を整えて活動を再開させる支部なども加えて、部活、ゼミなどの仲間も相集うようになってきました。

**山梨県 支部長**

山下 正人  
1971年度  
体育学部  
中巨摩郡  
0552-75-3705



**茨城県 支部長**

飯島 章  
1970年度  
体育学部  
石岡市  
0299-22-5901



**長野県 支部長**

長谷川 浩一  
1979年度  
体育学部  
上伊那郡  
0265-85-2534



**栃木県 支部長**

川股 通浩  
1968年度  
体育学部  
佐野市  
0283-24-7440



**富山県 支部長**

野田 智  
1978年度  
法学部  
射水市  
0766-56-2215



**群馬県 支部長**

三川 高  
1970年度  
体育学部  
前橋市  
027-221-3865



**石川県 支部長**

中條 俊夫  
1963年度  
体育学部  
羽咋市  
0767-26-0252



**埼玉県 支部長**

高木 英朗  
1969年度  
体育学部  
北本市  
048-542-8303



**岩手県 支部長**

中村 卓哉  
1963年度  
体育学部  
二戸市  
0195-27-4802



**会長**



**福井県 支部長**

坂下 貞雄  
1967年度  
体育学部  
吉田郡  
0776-61-0860



**千葉県 支部長**

藤原 伸二  
1971年度  
体育学部  
山武郡  
0479-82-5038



**宮城県 支部長**

大塚 義夫  
1971年度  
体育学部  
仙台市  
022-252-0383



**静岡県 支部長**

橋本 美智夫  
1967年度  
体育学部  
静岡市  
054-262-9031



**東京都 支部長**

浅川 公一  
1972年度  
体育学部  
町田市  
042-774-8606



**秋田県 支部長**

佐々木 信吉  
1969年度  
体育学部  
秋田市  
018-834-4722



**土方 清**  
1968年度  
商学部  
住所・連絡先:  
校友会本部へご連絡下さい

**岐阜県 支部長**

山脇 義宏  
1962年度  
体育学部  
安八郡  
0584-27-4678



**神奈川県 支部長**

西内 和  
1969年度  
体育学部  
平塚市  
0463-35-0077



**山形県 支部長**

秋山 進  
1968年度  
体育学部  
山形市  
023-623-2992



**北海道 支部長**

後藤 則応  
1964年度  
体育学部  
札幌市  
011-782-8905



**(愛知県)名古屋 支部長**

吉田 誠  
1967年度  
体育学部  
名古屋市  
052-711-8415



**新潟県 支部長**

瀬野 正英  
1973年度  
体育学部  
新潟市  
025-247-7412



**福島県 支部長**

浜名 邦光  
1964年度  
体育学部  
福島市  
024-557-2623



**青森県 支部長**

井上 義則  
1964年度  
体育学部  
五所川原市  
0173-34-4976





佐賀県 支部長

藤井 汎

1962年度  
体育学部  
伊万里市  
0955-22-5443



岡山県 支部長

鳥津 守

1969年度  
商学部  
岡山市  
086-263-0544



滋賀県 支部長

奥村 源太郎

1964年度  
体育学部  
甲賀市  
0748-88-4911



(愛知県)尾張 支部長

龜山 尚道

1976年度  
体育学部  
津島市  
0567-24-8861



長崎県 支部長

村島 義仁

1969年度  
体育学部  
長崎市  
095-857-5261



広島県 支部長

徳永 安春

1969年度  
体育学部  
広島市  
082-289-7631



京都府 支部長

辻野 朝晟

1965年度  
体育学部  
京都市  
075-622-1247



(愛知県)知多 支部長

伊藤 庄造

1968年度  
体育学部  
知多郡  
0569-82-0759



熊本県 支部長

早瀬 宏

1963年度  
体育学部  
熊本市  
096-380-4679



山口県 支部長

浜岡 藤生

1974年度  
体育学部  
下関市  
0832-59-8732



大阪府 支部長

森 忠司

1963年度  
体育学部  
京都市  
075-331-6157



(愛知県)東三河 支部長

小栗 俊朗

1979年度  
体育学部  
豊橋市  
0532-47-9064



大分県 支部長

石井 厚

1963年度  
体育学部  
築上郡  
0979-25-0525



徳島県 支部長

山本 健二

1968年度  
体育学部  
徳島市  
0886-69-0609



奈良県 支部長

高見 喬宏

1967年度  
体育学部  
宇陀郡  
0745-82-3426



(愛知県)西三河 支部長

吉田 幸弘

1975年度  
体育学部  
名古屋  
052-871-8573



宮崎県 支部長

野中 芳郎

1969年度  
体育学部  
宮崎市  
0985-28-4343



香川県 支部長

高橋 卓己

1979年度  
体育学部  
三豊郡  
0875-54-3736



和歌山県 支部長

四至本 晴夫

1964年度  
体育学部  
泉南郡  
0724-94-0232



(愛知県)学校部会 部会長

八谷 千衛

1971年度  
体育学部  
半田市  
0569-22-3103



鹿児島県 支部長

肥後 六男

1970年度  
商学部  
鹿児島市  
099-244-5599



愛媛県 支部長

村上 泰史

1984年度  
商学部  
今治市  
0898-32-5237



兵庫県 支部長

坂東 鐵二

1962年度  
体育学部  
西宮市  
0798-51-2354



(愛知県)特別支援教育部会 部会長

加藤 敏夫

1970年度  
体育学部  
岡崎市  
0564-52-8858



沖縄県 支部長

裁 弘義

1963年度  
体育学部  
糸満市  
0989-94-3900



高知県 支部長

山崎 義寛

1969年度  
体育学部  
高知市  
088-882-4834



鳥取県 支部長

清水 寛

1972年度  
体育学部  
鳥取市  
0857-26-3236



(愛知県)小中学校部会 部会長

岩木 良淨

1971年度  
体育学部  
海部郡  
0567-95-9116



中華民国(台湾) 支部長

陳 文昭

1975年度  
体育学部  
台北市  
02-2394-3007



福岡県 支部長

武尾 一三

1969年度  
体育学部  
遠賀郡  
093-202-1706



島根県 支部長

大森 栄二

1972年度  
体育学部  
松江市  
0852-24-4225



三重県 支部長

加古 昭次

1965年度  
体育学部  
松阪市  
0598-29-1719



# 新部会発足

## 三重県支部 学校部会設立総会

平成十八年二月二十五日(土)、三重県学校部会の設立総会を開催しましたので、ご報告いたします。

加古昭次三重県支部長より、学校部会設立についてお話をいただき、早速、県内各地の地区長が手分けして会員の住所確認を行い、上記の日程で開催することができました。今までこのような会が無かったことを不思議に思いますが、幸いにも今回三重県内にたくさんの方がいることを知り、今更ながら、もっと早く知っておれば」という気持ちになりました。

懇親会には、梅村清弘総長・理事長をはじめたくさん本部役員の方々にご出席いただき、盛大に設立総会が開催できました。ことを深く感謝いたします。そして、出席者全員の熱い思いを込めて、学校部会の発展と三重県学校教育の向上を祈念して万歳三唱をし、無事終了したことを報告いたします。(橘章夫)



## 静岡県支部 学校部会設立総会

平成十八年三月四日(土)、県内の同窓教員三五名と大学から梅村清弘総長・理事長・鈴木綱男理事・校友会本部長をはじめ多数の出席をいただき、ホテルセンチュリー静岡で学校部会の設立総会を開催いたしました。

総会では支部長挨拶の後、設立の趣旨説明、会則(案)の説明および役員を選出が行われ、多数の賛同を得て議案を採択いたしました。続いて懇親会に移り、梅村総長先生から京大の発展の様子を伺い、出席した同窓生も目を輝かせて拝聴いたしました。出席者からも、「このような会をもっと早く設立してほしかった」、「同窓生との情報交換や懇親の場がほしかった」、「母校のますますの発展を期待して、微力だが我々にできることは積極的に協力したい」との声が聞かれました。(山梨繁)



## 愛知県警察部会(APC会) 設立総会

平成十八年五月十三日(土)、名古屋キャンパス・ヤマテホールにおいて愛知県警察部会の設立総会が開催され、雨にもかかわらず一四〇名を超える方が参集しました。

総会の冒頭、発起人代表の稲山浩司会長(蟹江警察署長)から、同窓生数は約五八〇名で、APC会(Aichi Police Club)発足に当たって苦労された旨のお話がありました。設立主旨には、「親睦」、「母校発展への協力」に加え、母校の卒業生をより多く迎えたい」といふ「警察官受験の奨励」も加えられています。会則の承認と発会宣言の後、影山さん(警察庁警部・出向中)と倉成さん(逮捕術総監)の二人から、「コトア」を交えたお話がありました。その後、新装なった一号



館のアリーナ21で、大学の要人も多数参加して懇親会が開催され、梅村総長・理事長からは母校の驚異的な躍進ぶりを、小川学長からは「世界に通用する人間づくり」という夢をつかがい文化会吹奏楽団が演奏する懐かしの名曲を聴きながら、あちこちで歓談の輪ができていました。



## 石川県支部 学校部会設立総会

中京大学石川県支部同窓会学校部会設立総会を、昨年十一月八日、金沢方セルホテル東急で開催した。総会には会員百三十五名中六〇名の同窓生が顔を揃え、組織や活動計画について意見を交わした。

懇親会には、梅村清弘総長・理事長、片岡武司校友会本部長をはじめ六名の大学関係者の出席を賜り、和やかに友情を温めることができた。大学卒業以来の感動的な再会もあり、古い八事校舎や懐かしい教授などの話に花が咲いた。

総長より大学が充実発展している現状をお聞きし、母校への誇りと同窓の絆が層強まる手応えを感じ、今後の活動に決意を新たにされた。(元尾文)



## 岐阜県支部 学校部会設立総会

(平成十九年二月二四日開催)編集の締切後に開催のため、次号で報告いたします。

# 支部同窓会

...大学共催の支部同窓会

## 北海道支部

## ゴルフコンペ・同窓会

平成十八年七月二十九日(土)、「ホテル札幌ポールスター」において支部総会・懇親会が開催されました。また、前日には、恒例になりました、梅村杯「ゴルフコンペ」を下ムラシックコートで実施しました。

総会は全道各地区から三十一名の参加がありました。年々遠方からの参加が多くなり、十地区での同窓会を積極的に開催して行くかと思っております。懇親会においては、大学側からは梅村総長・理事長様をはじめ五名の職員の方が参加があり、会を盛り上げていただきました。

全国の同窓会の皆様、夏の北海道旅行とゴルフコンペへの参加をお待ちしております。(後藤則心)



## 梅村清弘総長を囲む会

平成十八年九月十五日(金)午後六時三〇分から、帯広北海道ホテルで、中京大学同窓会十勝・釧路支部の親睦会も兼ねて、梅村総長を囲む会を開催しました。

梅村総長は、「現状維持は後退を意味し、常に挑戦しないとイケない。また、今後の大



学の展望については、「プライドの持てる生き生きとした大学にしたい」と挨拶されました。片岡武司校友会本部長の発声で乾杯し、出席者は近況報告を交えながら、懐かしい八事校舎、北海道は寮生が多かったことから寮生活・クラブ活動等々について話題が尽きることなく親睦を深めました。さらに大学から、来年五月に完成する屋内スケートリンクス・アイスアリーナについて話があり、当地はスケート王国であることから大変興味深い話題となりました。最後に片岡武司本部長の指揮のもと、応援歌・寮歌を歌い閉会しました。懐かしい時間を作ってくださった梅村清弘総長をはじめ関係者に感謝し報告いたします。(増谷和夫)



地区支部長会

### 岩手県支部

仲秋の時季(九月十六日)、旧南部藩の城下町「盛岡」において、岩手県支部同窓会懇親会を盛大に開催いたしました。また、当日「第二回北海道・東北地区支部長会」も併せて開催されました。



さて、当岩手県支部同窓会が正式に発足してから、本年度で設立三〇周年を迎えることになりました。この記念すべき年度に恩師の諸先生方を囲みながらの支部同窓会懇親会開催は、実に意義のあることであつたと思っております。特に、先輩後輩が一堂に会し、「懐旧の情」に親しみ、大いに親睦を温め、同窓会の機運を二層高めることができました。(中村卓哉)

### 群馬県支部

平成十八年九月二十三日(土)、高崎ワシントンホテルプラザにおいて、関東地区支部長会と群馬県支部懇親会が開催されました。大学・同窓会本部からは梅村清英理事長代理、湯浅景三元体育学部長をはじめ八名の教職員と同窓会本部役員が出席し、関東地区支部長六名と群馬県支部会員二十一名の総勢三五名で和やかに旧交を温めました。



地区支部長会

### 新潟県支部

平成十八年十一月二十五日(土)、ホテルオークラ新潟において、中部地区支部長会と新潟県支部懇親会が開催されました。大学・同窓会本部からは湯浅景三元体育学部長、佐藤隆文学研究科長をはじめ七名の教職員が出席し、中部地区支部長八名と新潟県支部会員二十三名の総勢三三八名で和やかに旧交を温めました。

### 山梨県支部

平成十八年十一月三日(金)午後七時から甲府市のホテルニッパ芙蓉において総会および懇親会を開催。山梨県内より同窓生十八名が出席し、来賓の校友会本部の片岡武司本部長、小林富生課長より、校友会の活動状況、学校の様子等の報告を受け、経過報告と今後の活動、来年度のブック同窓会について確認しました。



地区支部長会

出席者全員で酒を酌み交わし、いろいろな話に花を咲かせ親睦を回り、全員の近況報告のあと肩を組み、学歌を斉唱し、盛会の内に幕を閉じました。そのあとほぼ全員で二次会へと繰り出し、違う二面も披露しました。終わりに、関係各位の皆様にご感謝し、支部の今後の発展のために更なる努力をいたします。(北川幸弘)



### 福井県支部

平成十八年七月二日(土)、中京大学同窓会福井県支部の総会および懇親会を開催。大学からは体育学部長の湯浅景三元先生、竹内外夫先生が学校の近況報告をされ、今、中京大学は元気のある大学として注目されている。日本の大学をリードする大学

### 静岡県支部

に発展させたい」というお話に大いに盛り上がりがありました。校友会からは片岡武司氏の参加があり、校友会の活動状況などを報告されました。また、役員改選も行われ、私が奥澤耕祐氏(前支部長)からバトンを渡され、支部長を引き受けることになりました。学校部会の会長には岩田繁恵氏(一九六八卒・大野市立下庄小学校校長)が選出されました。今後、会員の皆様や校友会本部のご協力を得まして、微力ではありますが精一杯務めさせていただきます。会員の方々には、今まで以上に、支部の活動に関心を持っていただき、そして、新しい仲間と共に盛り上げていきたいと思っております。諸先輩・後輩の皆様よろしくお願ひします。

懇親会の締めは、恒例の学歌斉唱で、全員でスクラムを組み、声高らかに歌い閉会しました。(坂下貞雄)

事務局 竹内泰(県立武生商業高校)  
越前市家久町七の三  
電話 (〇七七八)二二三九七三

昨年、県内を三地区に分けてそれぞれに地区長を決めました。今、今月初めの試みとして、二月二〇日(土)、東海軒会館において中部地区同窓会を開催しました。校友会本部からは、片岡本部長と小林課長が出席してくださり、大学の近況を報告していただきました。二十一名と少人数ではありましたが、年代の枠を超え、全員が近況報告を行い、情報交換と親睦を深めることができました。今後、さらに各地区の連携を強化し、充実した支部にしていきたいと





考えております。今後とも多数のご参加をお待ちしています。(橋本美智夫)

連絡先  
支部長(橋本)〇五四一・二六・二九〇三  
学校部会長(山梨)〇五四三・二五・二四九  
学校部会総会  
(平成十九年三月十日、西部地区において開催)編集の締切後に開催のため、次号で報告いたします。

### 愛知県尾張支部

毎年恒例の尾張支部同窓会が、五月二〇日に開催されました。本年度は、県立古知野高等学校長の伊藤久夫先生をはじめ、四名の先輩がご退職されました。支部より記念品を贈呈させていただきました。今後ともご指導頂ければと思います。大学からは、北川薫先生、片岡武司校友会本部長、小林富生課長に、多忙にもかかわらずご出席いただきました。毎年若い先生方の顔が増え、頼もしい限りです。大学時代の懐かしい思い出話もちらちらですが、教育現場の諸問題にも話が弾み、有意義な支部同窓会でした。最後は恒例の学歌を、全員でスクラムを組み元気良く大きな声で歌い、会を締めました。(亀山尚道)



### 愛知県西三河支部

平成十八年度愛知県西三河支部の総会・懇親会を七月二日(土)に岡崎ランドホテルにて開催し、会員の親睦と結束を新たにいたしました。また、会には大学より、校友会本部の小林課長さん、豊田キャリアセンタ

ーの朝妻課長さんにもご出席をいただきました。母校中京大学がさらなる躍進を続けている現状などをお話しいただき、卒業生として誇りに思いつつとも、大学の地元同窓会として、今後とも結束をより強くし、より大きく発展させていく決意を新たにいたしました。(吉田幸弘)

### 愛知県知多支部

平成十八年度、愛知県知多地区、小中学校・県立学校・私学部会「の合同懇親会を、二月二日(金)に、JR半田駅前のすし料亭「おそめ」において例年のごとく開催しました。

この会は、諸先輩のご尽力により合同開催になつてから十五年程になります。会員の増加とともに参加者も増え、今回は総勢五四名と盛会でした。

毎年、大学から先生方の御臨席をいたたいており、本年は校友会本部長の片岡武司様に御臨席を賜り、母校中京大学の近況報告とご指導をいただきました。

今回は初めての記念撮影を行い、再開を喜び、情報交換に時間を忘れる程でした。母校の益々の発展と再開を祈りつつ閉会しました。(伊藤庄造)



### 兵庫県支部

### 全国同窓会

### ゴルフコンペ・全国同窓会

兵庫県では、「のじぎく兵庫国体」が開催されました。本支部におきましても、兵庫県支部の組織強化や諸活動の見直しの年と考え、新たな活動の展開などを模索し実施してまいりましたが、その端を紹介いたします。

その一つは、各地区の組織強化と活性化そして消息把握を目的として、七月二十五日(火)に大学から梅村総長・理事長をはじめ八名の参加を得て、兵庫県支部「ゴルフコンペ」を開催しました。好天の中、四〇数名の参加者で楽しい一日を過ごしました。(ちなみに、梅村総長・理事長はベストグロスの71点でした)。

その二つは、国体開催に合わせて実施される全国同窓会を成功させるべく、「一〇〇名体制で温かくお迎えしよう」を合い言葉に準備を進めました。その結果、十月二日(日)の全国同窓会には、梅村総長・理事長、土方同窓会長をはじめ大学関係者一八名、そして当日の飛び入り参加者四八名を加え、総勢一六八名の多数の参加を得て盛大に開催することができました。

十二月には、反省を兼ねて二役、地区長会議を実施しましたが、「誘いの電話にも快く応対してくれ清々しく思った」、「良い顔つなぎができた」とか、「年齢差を埋める取り



組みが必要だ」などの意見も多く出され、有意義な反省会となりました。取り組みの一端を紹介しましたが、若いも若きも共に母校の発展のために手を携え、支部活動をさらに発展充実させたいと決意を新たにいたしました。(坂東鐵二)

### 和歌山県支部

晩秋の高野山・熊野古道世界遺産の紀州路へようこそ！十一月十一日(土)、ホテルグランヴィア和歌山において、梅村総長・理事長、湯浅体育学部部長ほか、多数の大学教職員のご臨席のもと和歌山県支部同窓会が開催されました。

それに先駆け、二府五県・京都・大阪・兵庫・滋賀・奈良・三重・和歌山)の支部長出席のもと、第二回近畿地区支部長会が行われ、同窓会活動における各府県の実態と今後の課題について、活発な意見が交換されました。

「存じのよつに、当県は海岸線の風光明媚な土地柄とはいえず、山岳地帯が南北に長く交通事情が不便なところですが、それにもかかわらず各方面で活躍している多数の同窓生が集い、先輩・後輩の垣根を越えて交流し、楽しいひとときを持つことができました。

また、ゲストとして落語家の桂支曾丸(かつら・しそまる)師匠が出演し、紀州の方言(なまり)や四方山話を交えての漫談に場内



地区支部長会



爆笑となり、時間の経過も忘れるほどでした。これもひとえに、ご協力をいただきました同窓生のご尽力の賜と感謝の念で一杯です。  
(四至本晴夫)

### 島根県支部

#### 島根県支部同窓会

平成十九年二月十七日(土)、松江東急インにて島根県支部同窓会を開催しました。当日は、大学から寺川博学園理事、奥野信宏総合政策学部長、大内敬哉体育学部教授、長谷川優体育学部教授、今井宏司同窓会参与(前同窓会長)を始め〇名の皆様をお迎えし、大森栄二支部長や脇田清顧問、そして有志の会「やっとかめ会」が中心となって参加者を募った結果、七〇数名の参加を得て盛大に開催することができました。



地区支部長会



また、大学の近況報告ではソフト面、ハード面とも充実した総合大学として発展し、今後も将来を見据えた学部・学科の新設を予定しているとの心強い紹介がありました。懇親会では、大森支部長と佐藤勇人会員による余興が披露され、最後に参加者全員で学歌を斉唱し盛会のうちに閉会しました。  
(越野司朗)

### 徳島県支部

#### 阿波踊り

「徳島県支部同窓会(阿波踊り)」に、本年も校友会本部より、同窓会副会長・理事長代理の梅村清英先生をはじめ五名の先生方が参加されました。八月十三日午後七時、先生方と支部OBの中京大学連と地元八千代連の合同で、徳島市役所演舞場へ踊り込みました。大学紹介アナウンスで冬季五輪日本代表の寺尾悟先生が紹介されると、棧敷席から大きな拍手と声援が送られました。その後、両国通り演舞場でも心ゆくまで踊りを堪能しました。先生方との交流を図るとともに、徳島県民に中京大学をアピールすることもでき、有意義な支部同窓会となりました。(山本健一)



### 大分県支部

#### 来年の全国同窓会開催へチャレンジ

昨年十月十四日(土)、九州地区支部長会と支部同窓会が、大分市内のホテルで開催されました。まず、九州八県支部長会では片岡校友會本部長より会の設立趣旨説明の後、各県の現況報告や個人情報保護法により同窓生の把握の問題等が協議され、引き続きの支部同窓会では小川学長より大学の現況を、片岡校友會本部



から同窓会全体にかかわるお話があり、年配の諸氏は感無量の面持ちで聞き入っていました。次に次回開催県・武尾福岡県支部長の音頭で乾杯し、懇親会へとは進み、大学からは室伏・堀山両体育学部教授もご出席されており、盛会の中、最後に全員で学歌を斉唱し、閉会しました。

なお、再来年の「大分チャレンジ国体」時には全国同窓会が予定されており、全国から多くの皆様が集つことを期待しています。とりわけ地元大分の皆様には万障繰り合わせのうえご出席をお願いいたします。  
(石井厚)



地区支部長会

### 沖縄県支部

平成十八年十月七日(土)、沖縄ハーバービューホテルにおいて、沖縄県支部同窓会が開催されました。大学・同窓会本部からは梅村清弘総長・理事長をはじめ、副会長二名と教職員七名が出席し、当日の飛び入りも多数あり、支部会員約三〇名の参加で賑やかな会になりました。



## 愛知県学校部会

### 総会

年に一度の総会と懇親会を六月十日(土)に開催し、総会では事業・会計の報告・計画と役員の一部改選の承認を受けました。その

後、本大学卒業生の寺尾悟氏による講演「トリノオリンピックを終えて」では、ショートトラックにかける思いをお話いただきました。懇親会には、梅村清弘総長・理事長先生をはじめ大学・附属高校から多くの来賓にご臨席賜り、参加者百二十七名を大いに励ましていただきました。中でも、新規採用の出席者十四名は、総長・理事長先生から直接お言葉をいただき、たいへん感激をしております。(八谷千衛)



### 管理職員・行政職員研修会

十月十八日(土)、中京大学から梅村清弘総長・理事長先生をはじめ二十二名の来賓を仰ぎ、会員五七名の参加でサイプレスガーデンホテルにて開催しました。本研修会は例年、退職管理職員からの講話(研修会)と懇親会および新入会員の紹介をしております。今年度は、近年の教育改革と教員の諸問題を顧み、新入会員紹介に合わせ、先輩管理職からの激励のこぼしに変更しました。ますます難しくなる学校教育経営について、会員が横の連携を密に我が国の将来を担う児童・生徒のため、よりよい教育実践の推進に大きな力を得ました。(八谷千衛)





## 八豊会

### 総会・懇親会

平成十八年度、八豊会「総会・懇親会」を六月九日(金)に中京大学センタービルで開催しました。総会では、役員・委員・事業計画等が承認され、懇親会では、来賓として、片岡武司校友会本部長・小林富生課長をお迎えし、「教育者として、常に学び続ける向上心を」との挨拶をいただきました。また、新採用の会員からは、楽しく分かりやすい授業を目指す」という教育に対する熱い声を聞くことができ、盛会裏に会を閉じることができました。

八豊会(中京大学卒業生で、名古屋市内の小・中・養護学校・教育関係機関に勤務する者)で構成。現在会員約二〇〇人を超える組織。  
(岩木良浄)



### ゴルフコンペ

昨年度に続き恒例の「八豊会真夏のゴルフコンペ」を八月十七日に開催できました。梅村清弘総長・理事長はじめ、大学側から七名、八豊会側から十二名が参加して新陽GCCでゴルフに興ずることができました。プレー中の話題と言えば、母校の現在および将来のことばかりでした。

パーティーでは、最近の現場(学校)事情や大学の様子などの情報交換ができ、有意義な時間を過ごさせていただきました。

来年度のコンペも、総長・理事長はじめ、理事長代理にもご参加いただき、楽しく親睦を深めていきたいと考えています。  
(島村佳衛)



### 若手懇親会

平成十八年九月八日(金)、名古屋キャンパス・ブレイジー(学食)において、八豊会の若手研修会が開催されました。これは、二〇代の若手教員の絆を強めようと、今回初めて企画されたもので、あいにくと諸行事が重なったため参加者は少数でしたが、同年代同士、和気藹々と情報交換し、懇親を深めることができました。



### 研修会

十一月十八日(土)、名古屋キャンパス会議棟において八豊会研修会を開催しました。今回は目玉企画として、母校の杉江修治教養部教授を講師としてお招きし、「協同学習」の重要性について講演をいただきました。杉江先生は小・中・高校の授業改善に関する問題を研究されており、愛知県犬山市の教育改革にも尽力され、ご自身の理論を実践されておられます。当日は三〇人を超す会員が参加し、メモを取りながら熱心に研修していました。その後の懇親会では、普段あまり話をする機会がない会員同士、これからの教育問題や部活動の指導方法に至るまで、アルゴールを片手にうち解けた雰囲気の中で楽しいひとときを過ごしました。(小栗誠)



### 特別支援教育部会

愛知県学校部会特別支援教育部会の総会・研修会が十月二十二日(土)、名

古屋市内のルプラ王山で開かれ、県内の盲・聾・養護学校の校長、教諭、講師等五八人が出席しました。

総会後、中京大学職員、青戸慎司先生の「オリンピックへの道のり」について講演があり、陸上競技からボブスレーとオリンピックへの厳しい道のりを豊かな経験と共に熱く語っていただきました。懇親会では、初任者や各学校の紹介を明るく、ユモアたっぷりに行い、懇親を深めることができました。  
(高村葉子)



### 中京挙母会

愛知県学校部会、中京挙母会」の親睦会が平成十九年九月五日、名鉄トヨタホテルにて梅村総長ら「来賓七名を含む合計八二名の参加のもと盛大に行われました。会の冒頭、城戸よしみ会長(広川台小学校教頭)は、おかげをもちまして会員総数百二十五名、うち役職者が三六名という地元教育界にはなくてはならない存在となりました」と会の発展ぶりを披露しました。参加者からは、「二五年前は、十五名前後の仲間が豊田学舎の食堂に集まるささやかな会だった」と発足当時を懐かしむ



## 在学生支援

### 愛知県教員採用試験の面接・実技講習会

「第二〇回面接・実技講習会」が平成十八年四月十五日(土)に豊田キャンパスにおいて開催され、教員を目指す学生約五〇名が受講しました。この講習会には、同窓会の教員十一名も参加し、面接での心構えや実技体操(陸上、ダンス)のポイントなどを、後輩たちへの思いを込めて本気で指導・助言をしました。ともあれ大切なことは、自分の力を最大限に発揮し、情熱と活力で子供たちの指導に取り組むことだと思います。

受講後、「学校の先生が好きだ、先生になりたい」という学生たちの声を聞きましました。こうした気持ちの高まりが、教員採用試験を突破していく原動力になると思います。多くの学生諸君が合格し、教員として一緒に子供たちの「夢」を大きくんでいきたいと思います。(佐藤賢)





## 名古屋市教員採用試験 学習会

平成十八年六月十七日(土)名古屋キヤンパス・センタービルにおいて、名古屋市教員採用試験の学習会が開催されました。これは名古屋市立の小中学校教員で組織するOB会(八豊会)の有志が集まり、受験に向けての心構え、模擬記述試験や模擬面接指導等を行うもので、教員志望の卒業生と在学生(四年生)十六名の参加がありました。

## 愛知県警察官採用試験 面接講習会

平成十八年六月六日(火)名古屋キヤンパス・センタービルにおいて、愛知県警察官採用試験対策として面接指導講習会が開催されました。これは五月十三日に愛知県警察部会APC)が発足したことに伴い、警察官を志望する在学生の支援を目的として、警察官OBが面接試験での心構えやポイント等を指導するもので、約五〇名の学生が真剣な面持ちで話に聞き入っていました。



## 部活動・同期会

### レクリエーション部

## 「緑綬褒章」受章祝賀会

平成十八年二月十一日、「緑綬褒章受章

…記念行事

を祝う会」が名鉄トヨタホテルで梅村総長・理事長、吉田豊田市教育長のご臨席を賜り、また、小川学長からのご挨拶をいただき、一四〇名の参加者で盛大に開催されました。

代々の学生の三十二年間の豊田市での活動が認められ、「緑綬褒章」という形で国からも認められての受章です。会は、学生の活動への支援をいただいた豊田市の各教育組織の皆様へのお礼の会でもありました。

レクリエーション部のOB・OGは、約二〇〇名ですが、会に出席してくれた卒業生は、初代から今年の卒業生まで、北海道から沖縄までで、七三名もの卒業生が参加しての会でした。各年代から、思い出を披露していただき、梅村総長・理事長とも昔話に花が咲き、「祝う会」は本当に和やかな会でした。まだまだ名残惜しそうでしたが、再会を誓って、お開きとなりました。(滝克己)

## 剣道部

## 創部五〇周年記念行事

平成十八年二月十一日(土)、名古屋観光ホテルにおいて、来賓：一般・父母・卒業生・現役部員など二百一〇名の参加をいただき、剣道部創部五〇周年記念行事を行った。行事は三部構成とし、第一部では、小川英次学長と湯浅景



大学レクリエーション部 緑綬褒章受章を祝う会

元体育学部長に講演をいただいた。第二部は記念式典で来賓より祝辞をいただいた後、物故者追悼式・献花を行った。また剣道部産みの親、育ての親である近藤利雄先生と第一回卒業生で剣友会初代会長を務めていただいた高橋宗男氏に記念品と花束を贈った。そして第三部は記念祝賀会が和やかに進み、盛会裏に幕を閉じた。出席者には記念の剣道部五〇周年記念誌と剣道部の面手拭が贈られた。(堀山健治)

## 硬式野球部

## 創部五〇周年記念行事

硬式野球部が創部五〇周年を迎え、十一月十八日(土)に記念試合と祝賀会が開催された。

記念試合は、立命館大学を本学野球場へ招いて行われ、試合は二一二引き分けた。

記念祝賀会は、キヤッスルプラザホテル

名古屋で行われ、約二〇〇名のOBや部員が出席した。林口高OB会長、瀧正男元監督・深谷弘次元監督、堀田英毅部長らが挨拶し、愛知大学リーグでの三十二回の優勝と一九七〇年の全日本大学優勝など、輝かしい歴史を振り返り、現部員を激励した。続いて、来賓として小出忠孝愛知大学野球連盟会長、梅村清英理事長代理、小川英次学長が挨拶し、ますますの活躍を期待するとの祝辞を述べられた。

梅村光久理事長補佐の乾杯の音頭で懇親会に入り、新OBとなる四年生部員の紹介や現役部員らの決意表明も行われた。



## 体操部

## 創部五〇周年記念行事

体操部(体操競技部、新体操部)は、平成十八年十一月二十五日、名古屋キヤンパスで創部五〇周年の記念行事を催した。

体操部は、本学開学翌年の一九五七年に創部。メキシコ・ミネソタ五輪で計六個の金メダルを獲得した中山彰規体育学部長や、授やミネソタ五輪団体金メダルの笠松茂さんを輩出するなど華々しい部史を誇っている。記念行事にはOB・OG、学生ら約二五〇人が出席。同窓会長の土方清サークルKサンクス社長の記念講演「社会へのチャレンジ」を聴き、式典・祝賀会に臨んだ。

体操競技部長の中山教授と体操部同窓会の小林章介会長が挨拶。その他、多数の来賓から祝辞が寄せられた。

祝賀会において、体操部同窓会の第二代会長桑原真喜男さんから選手指導者として活躍した百三〇人を表彰し、同窓会から体操競技部・新体操部に記念品が贈られた。(近藤重晃)



## ソフトテニス部

## 創部五〇周年記念行事

ソフトテニス部が創部五〇周年を迎え

一月十七日、名古屋キヤンパスで記念祝賀会を開催した。部は本学が開学された一九五六年に設立され卒業生は四三七名を数える。インカレ優勝団体四回、ダブルス五回、シングルス四回、全日本総合では一組が七回の優勝を飾っている。会には三〇



名余が参加し、小山哲部長・藤原伸一〇〇会長の挨拶の後、小川英次学長、梅村清弘総長、理事長、愛知県連盟岡本右三副会長から祝辞を頂いた。熊田章南前〇〇会長の音頭で乾杯。途中昨年三十二年ぶりにインカレ個人優勝した玉川・横江組に記念品が贈呈された。最後に、石元孝夫高知県連盟副会長の音頭で万歳三唱がなされ、学歌、応援歌二十曲が斉唱され会を閉じた。(小山哲)

陸上競技部

五六年度卒(一五周年)同窓会

平成十八年八月二六日(土)名古屋カーデパレスにおいて、卒業一五周年を記念して第二五代陸上競技部の〇〇会(昭和五六年卒)が開催されました。安藤先生、中尾先生にもご出席いただき、あわせて二七名、約半数が集まりました。最初は現在と記憶の中にある姿の不致で楽しい大混乱が発生し、賑わいの中、雰囲気は一五年前に戻っていき、懐かしい学生時代の話、家族や仕事など盛りだくさんの近況報告、どつどつ湧く笑い声、拍手喝采があふれ、宝の山にいるような時間でした。最後は円陣で学歌大



合唱、その勢いのまま二次会のショットバーへ乗り込んでしまい、少し賑わしてしまいました。今回は、数年後に豊田学舎の学食でやるということになっています。(大西範和)

四二年度卒業生同期会

昨年度、セミナーハウスで期上の学年が還暦を迎える会を開催された同窓会報の記事を見て、我々の学年はどうするのかと、他人事のように考えていたのが、自分がお世話することになるとは思いませんでした。

セミナーハウスでの計

画も考えたのですが、懐かしい名古屋に集まって、きれいな大学を見てもらいたいと思ひ、十月十八日(土)、開宴時間も帰られる方のことを考えて、名古屋カーデパレス午後四時としました。

五〇名ほどに連絡案内をしましたが、西藤、中尾先生をお迎えして十六名の参加者がありました。

大学見学、興正寺のグラウンド、斎先生の参り、昔話と懐かしい話、近況報告をする中、今回出席できなかった人達のためぜひ、来年も企画することを約束して、元氣のいい楽しい会を終えることができました。ぜひ来年はもっと多数の方に参加いただきますようお願いいたします。また参加できなかった方々への連絡はこの会報の記事で連絡とさせていただきます。(岡本博)

陸上競技部女子「梅の会」

去る平成十六年十一月十三日、中京大学陸上競技部創部五〇周年記念祝賀会が名古屋学舎で行われた折、女子だけが近くのホテル喫茶室に集まりました。そのとき恩師梅村すみ子先生がご出席下さり、たいへん



懐かしく歓談致しました。卒業後、グループでそれぞれ集まっていたものの、陸上部卒業生女子ばかりがこのように多く揃ったのは初めてのことでした。今後この集いを続けていきたいと思います。ということになり、会の名称は「梅の会」と名付けました。



「第三回梅の会」は、平成十八年十一月十八日、「学びの舎」である懐かしい八事です。すみ子先生が九〇歳をお迎えになったというメインテーマで集まりました。恩師すみ子先生の九〇歳のお誕生パーティーでうれしい歓談。そして、数十年前汗を流した興正寺からグラウンドまで散策し、清明先生と斎先生のお参り。そして、学生時代に帰り居酒屋でおしゃべり会食です。部員と励まし合い、競い合い、共に極限までトレーニング、記録に挑戦した思い出。卒業後それぞれ道は違いますが、あの苦しい練習を糧に、社会で活躍している人、すでに隠居して第二の趣味に生きる人、みんな生き生きしています。これからもすみ子先生の「ご健康と長寿を願う」この会が続いていけばいいなと思っております。(播磨純代)

恵明寮創設期の陸上部〇〇会

一九五七〜六二年度卒業の恵明寮(陸上部合宿所)の仲間を中心とした〇〇会を、平成十九年二月九日(金)に愛知厚生年金会館で開催しました。ご多忙にもかかわらず、同世代の陸上部〇〇でもある梅村清弘総長・理事長をはじめ、第一回卒業の佐々木健吾先輩も出席さ

れ、各地遠方より二五名の参加がありました。懇親会では寮生活の思い出話や毎日往復七キロの瑞穂競技場通いなど、懐旧談に花が咲き、至福のひと時を過ごすことができました。当時の寮生活の一端を披露させてい



体育学部

四〇年度卒業生同期会

今回の同期会は、十一月四日(土)に高知市内の城西館にて開催いたしました。

同期生一四名が出席、うち夫婦一組と山崎義寛高知県支部長が歓迎の言葉を述べてくれました。宴席は二六名が出席。

来年度(平成十九年度)の第六回は三重県で、幹事は加古昭次(三重高校勤務)に決めました。(國分昌二)





## アメリカンフットボール部 OB総会

平成十九年二月二八日(日)、名古屋キャンパスセンタービルにおいて、アメリカンフットボール部OB総会を開催しました。この会は、会則により毎年一月の第四日曜日に開催しています。今回は小山哲先生部長(が)残念ながら欠席でしたが、顧問の梅村清英先生をはじめ全国から三十一名の出席がありました。



総会は、会長の挨拶に始まり、梅村先生から今年の意気込み等についてお話いただいた後、十八年度事業報告・決算報告、役員改選、十九年度事業計画等について報告が行われ、承認をいただきました。

総会終了後、学生の参加も得て、学生食堂で懇親会を開催し、アメリカンフットボールを熱く語り合い、大変に和やかな雰囲気の中に会は進み、最後は全員が輪になつて学歌を斉唱し、三本締めで会を終了しました。(西島淳児)

## 中京誠叢会

経営学研究科修了生の親睦団体である、誠叢会」は第二回総会を平成十八年三月二五日に中京大学センタービル「サロンドヤマテ」で開催いたしました。平成十七年度事業報告および平成十八年度事業計画が満場一致で承認された後、



懇親会へと移りました。

中京大学からは、梅村清弘総長・理事長、小川英次学長のほか、中垣先生、猿田先生、水谷先生(B 研究科長)、校友会より小林課長の出席をいただき、B 研究科修了生を代表して鶴峰さんをお招きしました。梅村清弘総長・理事長は、母校の動向や教育事情などをお話しになり、「大学を取り巻く環境が厳しくなっていくなか、母校発展には、良い教育を施すために良い研究をするという研究者の良心と卒業生の社会での活躍が欠くことのできない車の両輪である。また、在学生の就職は、学園組織体となつた支援体制が必要であり、大学マネジメント・教職員・地域社会の三位一体の連携が必要である」と強調されました。

中京誠叢会は、情報ネットワークの形成と情報交換に貢献できる場の提供を大きな目的として掲げ、会員各位の創造と発展を理念とした活動を目標に、今後もさらなる拡大を目指すものです。

平成十八年度総会は、五・六月頃開催予定です。多くの会員の参加をお待ちしています。(神田善郎)

## ユネスコクラブ

昨年、中京大学ユネスコクラブOB・OG会は、鶴舞公会堂で開かれた日本ユネスコ全国大会に参加しました。世界の恒久平和への願いを新たにできた素晴らしい大会でした。

今年七月二日には母校中京大学で講演会を開催いたしました。「地球温暖化と私たちの暮らし」をテーマに中京大学名誉教授野原敏



夫先生に公演をしていただきました。三〇名もの方々が出席され、先生のお話熱心に聞き入りました。職員食堂をお借りして行われた懇親会では、四二年ぶりに大学の門をたたいた「四〇年目の再会は夢のようだ」など、皆で懐かしさと喜びを分かち合い、楽しいひと時を過ごしました。

二〇〇七年には、名古屋ユネスコOB・OG会で学生ユネスコ六〇周年記念行事を計画しております。ぜひご参加ください。(広瀬勝美)

## 子ども会研究会

### おおねセツルメント

一九七〇年代、八事の大学門を通じてすぐ二階建ての古い木造校舎がありました。入口には、子ども会研究会」の看板、通称「ジャリ研」で親しまれていましたが、これはセツルメント活動として全国の主要な大学にありました。当時、日本福祉大学セツルメントサークルから分かれ、天白区大根地域にて実践したのが始まりで、サークルで学習、総括したものでした。「みんなはひとりのために、ひとりみんなのために」の slogan に青春の熱い想いを抱いている仲間達です。何十年たつても、きのうのようにつく打ち解け、同窓会宴会では、肩を組んで、団結踊り」でした。

次回は、二〇一二年十一月開催です。この記事を見て連絡をもらっていない方は連絡ください。

〇八〇一三六三八一二二九六 ネズミ (高瀬忠嗣)



## 課外活動奨励賞授与式

同窓会課外活動奨励賞の授与式が、平成十八年五月三十一日と十二月二十一日に豊田キャンパスの会議室で開催されました。この賞は、優秀な成績を挙げた個人や団体を表彰することにより、課外活動の活性化を図ることを目的として制定され、四月十分(上期)を十一月に、十月(下期)を五月に表彰しています。今年も合わせて個人一九名と二四団体を表彰し、奨励金を贈りました。



(上期)



(下期)

# 校友会本部からのお知らせ

支部同窓会開催予定(二〇〇七〜二二年度)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)						
			07	08	09	10	11	12	13
北海道・東北	北海道	494						●	
	青森	118		●					
	岩手	99							●
	宮城	113			●				
	秋田	135	★				●		
	山形	109				●			
	福島	135	●						
関東	茨城	223			●				
	栃木	180					●		
	群馬	267							●
	埼玉	332						●	
	千葉	366	●			★			
	東京	588				●			★
	神奈川	462		●					
中部	新潟	500			★				●
	富山	1,403				●			
	石川	1,276					●		
	福井	1,022		●					
	山梨	222	●						
	長野	1,420						●	
	岐阜	5,653			●				★
静岡	3,922								

各県支部同窓会は、7年に1度の開催になります。

- …地区支部長会
- ★ …全国同窓会(国体開催県・2012年度は予定)

地区	県名	会員数 (住所判明者)	年度(西暦)						
			07	08	09	10	11	12	13
近畿	三重	5,210	●						
	滋賀	1,310							●
	京都	920		●					
	大阪	1,171			●				
	兵庫	2,140						●	
	奈良	438					●		
	和歌山	759							●
	中国・四国	鳥取	427	●					
島根	510							●	
岡山	972							●	
九州・沖縄	広島	1,199		●					
	山口	515			●		★		
	徳島	778					●		
	香川	771							
	愛媛	639							
	高知	536						●	
	福岡	522	●						
	佐賀	194		●					
	長崎	284							●
	熊本	213						●	
大分	284		★						
宮崎	283				●				
鹿児島	381					●			
沖縄	333							●	

二〇〇七年度  
同窓会開催予定(校友会本部共催分)

支部	開催日	開催地	会場	住所	電話番号
福岡県	10月20日	福岡市	ホテルクリオコート博多	〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3	092-472-1111
福島県	10月27日	郡山市	郡山ビューホテル	〒963-8004 福島県郡山市中町3-1	024-924-1111
香川県	11月17日	高松市	リーガホテルゼスト高松	〒760-0025 香川県高松市古新町9-1	087-822-3555
三重県	11月24日	津市	ホテルグリーンパーク津	〒514-0009 三重県津市羽所町700	059-213-2111
山梨県	12月8日	甲府市	ホテル談露館	〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-19-16	055-237-1331
鳥取県	12月15日	鳥取市	ホテルニューオータニ鳥取	〒680-0822 鳥取県鳥取市今町2-153	0857-23-1111
千葉県	12月22日	千葉市	東京ベイ幕張	〒261-8525 千葉県千葉市美浜区ひび野2-3	043-296-1111
全国同窓会	9月30日(日)	秋田市	秋田ビューホテル	〒010-0001 秋田市中通2-6-1	018-832-1111

二〇〇五年度  
中京大学同窓会  
決算報告書

収入		支出	
前期繰越金	69,923,464円	同窓会開催費	10,851,202円
会費	181,160,000円	同窓会開催準備費	0円
地域同窓会開催会費	2,074,000円	ホームカミングデー開催費	1,791,220円
同窓会館使用料	703,500円	事務局運営費	4,949,761円
受取利息	5,863円	広告費	30,000円
預金(振込手数料)	10,885円	会報発行費	12,325,107円
その他収入	296,739円	通信費	31,956,004円
その他戻入	684,749円	各種遠征費補助	3,080,726円
		奨学費	39,420,400円
課外活動奨励費	6,850,000円	全国支部総会費	8,707,361円
会員・準会員記念品等	8,046,825円	入学辞退者返金	500,000円
同窓会館維持費	1,277,689円	同窓会館維持費	1,277,689円
各役員会・各会開催費	5,638,058円	雑費	1,620,714円
教育事業支援準備費	50,000,000円	次期繰越金	67,814,133円
<b>合計</b>	<b>254,859,200円</b>	<b>合計</b>	<b>254,859,200円</b>



## 個人情報保護法への対応について

### 〔基本方針〕

校友会本部における個人情報の取扱いは、次の方針で行います。

利用目的をできる限り特定し、必要な範囲に限り個人情報を取得します。

利用目的の範囲内で、業務の遂行上必要な限りにおいて個人情報を利用します。

取得した個人情報は、本人の同意を得ることなく、第三者に提供しません。

情報セキュリティ対策をはじめ、個人情報の紛失、漏えい等の予防に努めます。

外部への業務委託については、個人情報の保護に関する契約の締結及び委託先に対する監督を行い、情報の管理に努めます。

本人から個人情報の開示・訂正・削除の請求がなされた場合は、その請求を尊重して対応します。

### 〔具体的方針〕

会員データの利用目的は、会則に定める「母校の向上発展と会員相互の温交和親を図るため」に必要な正確な会員情報の把握と各種案内や刊行物の発送に限り、それ以外の目的には利用しません。

校友会本部が管理する個人情報のうち、「会員ナンバー、卒業年度、学部・学科、氏名、住所、電話番号、勤務先名、職名、勤務先電話番号」を各県支部長(部会長)及び各OB会長に提供します。ただし、提供するデータは各所属会員のものに限ります。

この場合の各県支部長(部会長)各OB会長は、(法21条に定める)校友会本部の従業者に該当します。

個人情報は校友会本部が一元管理し、従業者が個人情報を適正に管理するよう監督します。

従業者以外の方には、個人情報を提供しません。(同窓会名簿は発刊しません。)

第三者が情報の提供を求めてきたときは、校友会本部がその要件を本人に取り次ぎます。(本人が必要と判断した場合は、本人から相手方に連絡をとっていただきます。)

本人から個人情報について削除の請求がなされたときは、その請求を尊重して対応します。

個人情報の削除を希望される方は、校友会本部へご連絡ください。所定の手続きの後、データを削除いたします。ただし、削除後は中京大学広報や同窓会通信等の刊行物及び同窓会やホームカミングデー等の開催案内が一切届かなくなりますのでご承知おきください。

## 転居(転職)時には必ず連絡を

現在、約27,000名の住所不明者がいます。これらの方は、転居時に校友会本部へ連絡が無かった方です。校友会本部からは、中京大学広報を年4回、同窓会通信を年1回、全国同窓会やホームカミングデー及び各支部同窓会のお知らせ等を一生涯お送りしています。

住所や勤務先等に変更がありましたら、同封の葉書・電話・ファックス・Eメールまたは同窓会ホームページの「連絡お知らせ欄」等

ご連絡ください。また、同窓生で郵便物が届かない方がおられましたら、校友会本部へ連絡するようお伝えください。

- (1) 集合住宅にお住まいの方は、棟・部屋番号まで正確に記入してください。
- (2) 氏名には、必ずフリガナを付けてください。
- (3) 改姓・改名された方は、在学当時の姓名も記入してください。

## 各種の調査や勧誘にご注意を

住所・勤務先等の問い合わせにご注意ください。

中京大学同窓会からの住所調査と名乗り、電話で個人情報を集める者(業者)がいます。不審な問い合わせには、相手の電話番号を聞いて掛け直すか、校友会本部へご連絡ください。

「人事新報社」からのダイレクトメールにご注意ください。

数年おきに、人事新報社という会社から「中京大学同窓会名鑑」発刊のための調査と購入予約の葉書が送られてきます。人事新報社については下記のとおりですのでご注意ください。

- (1) 人事新報社は、中京大学とまったく関係がありません。
- (2) 人事新報社への個人情報の提供や名簿購入の義務はまったくありません。

- (3) 個人情報の提供や名簿の購入により不利益を被った場合でも、中京大学は責任を負うことはできませんのでくれぐれもご注意ください。

人事新報社に関しては、多くの学校がホームページで注意を呼びかけております。

名刺広告の勧誘にご注意ください。

「新聞に名刺広告を出しませんか」と、あたかも中京大学が仲介しているような勧誘があります。大学や同窓会ではそのような依頼をすることはありませんのでご注意ください。



# 中京大学同窓会の会員証とUCSカードが一体化!

「中京大学 UCSカード」は中京大学同窓会の会員証としてのみならずクレジットカードとしても国内・海外で幅広くご利用いただけます。さらにUCSが提供するうれしい特典が満載のカードです。

## 校友会のカードとして

中京大学UCSカード会員のショッピングご利用金額の一部が同窓会へ寄付され、奨学金として有効に活用されます。



## いろいろなお得をご利用ください。

### 会員感謝デーは5%引

アビタ・ユニー・ユーホーム 毎月19・20日

ユーストア 営業日の水曜日 (ユーストア赤池店は月曜日)

ラフーズコア 毎月第1・3日曜日

※直営売場が対象です。  
※定休日の場合もございます。また金券類、たばこ、書籍等、一部の指定商品は除外です。

### 宇佐美ならガソリンも割引 (全国400の直営店のみ)

UCSカードでお支払いいただくと、ガソリン・洗車・カー用品・メンテナンスなど、表示価格から3%引でご利用いただけます。



※ガソリン税・軽油税・消費税・金券等は対象外です。

## 急な出費も大丈夫!

### キャッシングサービス 《ご利用は1万円から》

アビタ・ユニー全店、ユーストア(一部店舗のみ設置)に設置のATM・CDで



郵便局・提携銀行で

郵便局、提携銀行、信用金庫などで幅広くご利用いただけます。

提携クレジット会社のATM・CDで

クレディセゾン(西友・西武百貨店)、イオンクレジットサービス(ジャスコ・ミニストップ)、オーエムシー(ダイエー)など

●手数料率/実質年率...27.80% ●返済回数及び期間/元利一括返済(1回払い(22~55日))  
残高スライド元利定額返済(リボルビング払い(返済期日毎月10日))(カード有効期限内まで) ●担保・保証人/不要 ●遅延損害金/実質年率...21.90%

このマークを目印にご利用ください。



## 使えばお得が貯まります。Uポイントプラス

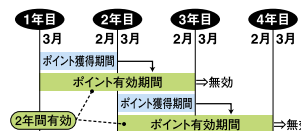
### Uポイントプラスプログラム

カードでのお買い物に応じてポイントが貯まって、商品との交換ができる特典です。



### ポイント有効期限は最長2年

ご利用1,000円ごとに1点のポイントが貯まります。ポイント有効期限内にさらなるポイントアップを目指してください。



### 選べる5つの商品

ポイント有効期限内ならいつでも商品と交換いただけます。お好きなコースをお選びください。

- ◎ユニー商品券
- ◎図書券
- ◎UCS (UFJ) ギフトカード
- ◎JALマイレージバンク

※交換には「UCSマイレージ倶楽部」へのご入会が必要です。

### ◎(財)日本ユニセフ協会への寄付

(財)日本ユニセフ協会への寄付について

「地球の未来、子どもたちの未来を守る」

子どもたちの幸せを願い、さまざまな事業を推進するユニセフ。UCSはその活動に賛同し、(財)日本ユニセフ協会への寄付を新設いたしました。

### 商品との換算表

点数	交換商品
250点	1,000円
500点	2,000円
750点	3,000円
1,000点	5,000円
1,200点	6,000円

※1,000点を越えると換算率がアップします。以降200点ごとに1,000円増。

### ロイヤルメンバーならさらにポイントアップ

1年間(前年3月~当年2月請求分)の獲得ポイントが1,000点以上の方を「UCSロイヤルメンバー」として当年3月にUポイントを200点進呈します。

## UCSで安心も手に入れてください。

### 旅の安心保険

海外最高2,000万円  
国内最高1,000万円

保険料無料

《海外旅行傷害保険・国内旅行総合保険》

保険適用条件

- ・別途お申込みが必要です。カード発行後、UCSコールセンターへお電話でお申込みください。  
※ご出発2週間前までにお申込みください。
- ・カード発行後、1ヶ月経過後のご旅行より適用となります。
- ・国内旅行総合保険はUCSカードでご旅行代金を決済された旅行が適用となります。

### ショッピング安心保険

保険料無料

UCSカードでお買い上げいただいた商品の、破損・

盗難・火災による損害を商品購入日より90日間補償いたします。

(免責3,000円、1品1事故5,000円~100万円)

※一部補償の対象とならない事故、商品がございます。

## 年会費無料!

- ・カード盗難保障は無料でおつけております。
- ・万一、紛失・盗難にあわれても、お届け日の60日前からの不正利用分を本人会員様・家族会員様ともに保障いたします。  
詳しくは別途定めるUCSカード盗難保障制度規約をご確認ください。

お問い合わせは

中京大学校友会本部  
(同窓会事務局)

〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2  
TEL 052-835-7140 FAX 052-835-6069 中京大学URL <http://www.chukyo-u.ac.jp> 校友会本部e-mail [koyu@mng.chukyo-u.ac.jp](mailto:koyu@mng.chukyo-u.ac.jp)